



# ポストコロナに向けた 延岡の新しい動き

延岡市街地を上空から撮影



令和5年5月 宮崎県延岡市

## I. スマートシティ P5

I-① スーパーシティ型国家戦略特別区域への指定に向けたこれまでの取組	6
I-② 令和3年度スマートシティ関連事業に採択	10
I-③ 具体的な取組状況 令和4年度(3年度補正含む)デジタル田園都市国家構想推進交付金	15
I-④ 具体的な取組状況 令和5年度(4年度補正含む)デジタル田園都市国家構想交付金	35
I-⑤ 民間企業・大学等との連携協定	50
I-⑥ 東九州メディカルバレー構想	58
I-⑦ 地域DXの推進への取組 地域課題解決プロジェクトチームの活動	60

## II. 人材育成・確保 P63

II-① 延岡ITカレッジの開校	64
II-② 奨学金返済支援による地元企業人材確保支援事業	65
II-③ Out of KidZania in のべおか2022	66

## III. 企業誘致 P67

III-① IT関連企業の開所状況(延岡駅前西口街区ビル)	68
III-② ワークーション施設の利用補助	69
III-③ 延岡市コワーキングスペース	71

## IV. 脱炭素先行地域 P73

IV-① 環境省の「脱炭素先行地域」に選定	74
-----------------------	----

## V. 延岡市ふるさと納税 P75

V-① 延岡市ふるさと納税のご紹介	76
-------------------	----

## VI. ネーミングライツ P77

VI-① 多目的屋内施設(仮称)のネーミングライツパートナー	78
--------------------------------	----

## VII. その他 P79

VII-① 延岡城・内藤記念博物館オープン	80
VII-② 野口遵記念館オープン	81

# 延岡市の紹介



- 宮崎県の北部に位置する人口約12万人の中核都市です。
- 旭化成(株)創業の地で、東九州随一の工業集積を誇る工業都市「ものづくりのまち」です。
- 周辺3町との合併により、工業だけでなく、大自然と共に発展してきた農林水産業、さらに歴史や文化が調和した都市として発展しました。



# 延岡市へのアクセス



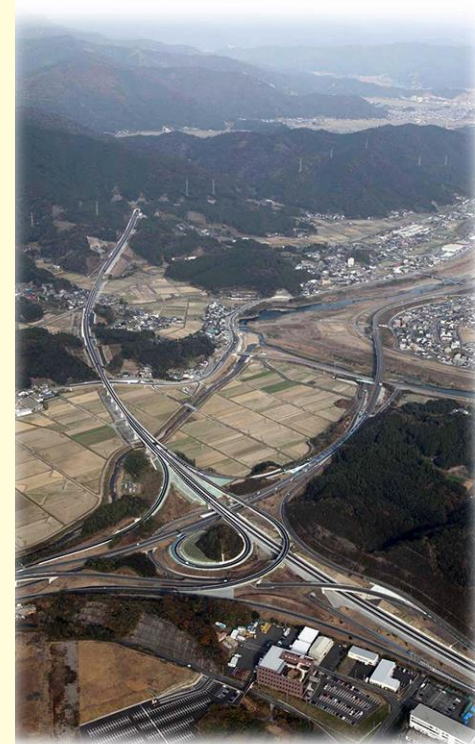
■ 東九州自動車道の全面開通

■ 九州中央自動車道の一部開通

アクセスが

飛躍的に向上中

東九州のクロスポイント  
の中心都市



# I. スマートシティ



## I - ①

スーパーシティ型国家戦略特別区域への  
指定に向けたこれまでの取組



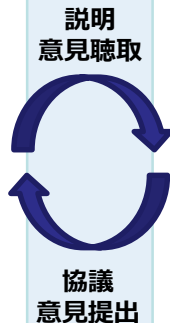
# スーパーシティ型国家戦略特別区域 ～指定に向けた推進体制～

延岡市スーパーシティ構想準備協議会（令和3年2月19日設立）

（令和4年8月現在）

## 運営委員会（※リードアーキテクトとの協議の場）

- リードアーキテクト（総括）  
延岡市 市長 読谷山 洋司
- キーアーキテクト（全体統括）  
東京大学大学院情報理工学系研究科 研究科長・教授 須田 礼仁
- アーキテクト  
東京学芸大学 教育インキュベーションセンター 教授 金子 嘉宏  
宮崎大学 副学長 明石 良  
国立循環器病研究センター 予防医学・疫学情報部 部長 西村 邦宏  
慶応義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授 山形 与志樹  
株式会社リクルート フェロー 大久保 幸夫  
SBI生命保険株式会社 代表取締役社長 小野 尚  
旭化成株式会社 専務執行役員 デジタル共創本部長工学博士 久世 和資  
旭化成陸上競技部 顧問 宗 茂
- 協力  
慶應義塾大学SFC研究所
- 先行実施者  
延岡市立延岡中学校3年生の皆さん



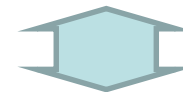
## 総会（※地域代表との意見交換等の場）

- 地域団体組織
  - 延岡商工会議所
  - 学校法人順正学園九州保健福祉大学
  - 社会福祉法人延岡市社会福祉協議会
  - 延岡市区長連絡協議会
  - 延岡市公民館連絡協議会
  - 延岡市民生委員児童委員協議会
  - 延岡市さんさんクラブ連合会
  - のべおか男女共同参画会議21
  - 一般社団法人延岡市医師会
  - 一般社団法人延岡市歯科医師会
  - 一般社団法人延岡市西臼杵薬剤師会
  - 一般社団法人延岡観光協会
  - 延岡農業協同組合
  - 延岡市水産振興委員会
  - 延岡市PTA連絡協議会
  - INOBECH協同組合
  - クリアセブン会
  - 協同組合延岡卸商業センター
  - 一般社団法人宮崎県工業会
  - 延岡市商店会連合会
  - 株式会社まちづくり延岡
  - 一般社団法人宮崎県バス協会
  - 延岡市健康長寿推進市民会議
  - 延岡市障がい者自立支援協議会
  - 延岡市介護支援専門員連絡会
- 延岡市DX推進本部（庶務：スマートシティ推進室）
  - ・本部長 読谷山洋司市長 ・副本部長 山本一丸副市長、中間弘副市長
  - ・本部長 企画部長、総務部長、市民環境部長、健康福祉部長
  - ・本部長 商工観光部長、教育部長

## スーパーシティ構想検討会議（ワーキンググループ）

- 先端的サービスを提供する事業者  
大学：東京大学大学院情報理工学系研究科附属ソーシャルICT研究センター  
東京学芸大学、慶應義塾大SFC研究所、大阪大学、宮崎大学 など  
研究機関：国立循環器病研究センター、  
（米国）Memorial Sloan Kettering Cancer Center など  
民間企業：旭化成(株)、旭化成ネットワークス(株)、(株)ケーブルメディアワイワイ  
西日本電信電話株式会社、KDDI(株)、ソフトバンク(株) など
- データ連携基盤整備事業  
西日本電信電話株式会社 など

※その他、107団体が協力事業者として参画



情報公開・意見交換

市民

市HP・SNS等での公開・住民説明会の開催など

市議会

市政に対するチェック・議会での質疑など

※事業採択後には、推進協議会に変更するとともに、交通・医療など主要分野別にWGを構成し、具体的な事業内容・役割分担を決定。

我が国を救う！ 日本のお家芸・製造業のまち延岡市の取組

強み

延岡市がスーパーシティに  
選ばれるべき

3つの理由

1 テストベッド適性

人口構成や地理的状況、産業構造などが「日本の縮図」。テストベッドに適したまち。

2 卓越した市民力

2009年の県立延岡病院の医師の大量退職による「地域医療の崩壊」を市民が健康づくり活動やコンビニ受診抑制により克服。医療費や介護認定率を削減。

3 理系のまち

「日本の化学産業発祥の地」故に市民のテクノロジーに対する受容力が高い。すでに多くの企業・大学・研究機関等と最先端の実証事業を積み重ねており、政府も「スマートシティ」に選定済み。

目標

都会との  
教育格差解消  
(単身赴任ゼロ)

南海トラフ等に備えた  
「逃げ遅れゼロ」

救急救命率の  
向上

脱炭素型  
公共交通システム  
確立

健康寿命  
100歳

取組

教育

延岡市だからこそ出来る  
世界一の教育を実現

優れた教育で都会との格差をなくす

- 「論理コミュニケーション」「英語ディスカッション」「データサイエンス」の3教科を市独自に特設。
- 同時双方向遠隔授業を実施。
- 市が設立する「延岡こども未来創造機構」による「人間力」教育。

防災

「被災状況シミュレーター」による訓練及び避難情報提供

「逃げ遅れゼロ」を実現・ビジネスモデルを提示

- 行動パターン分析を活用した「被災状況シミュレーター」を構築。
- 「空飛ぶクルマ」による救命救急率の向上、医療・救援物資等の輸送。
- 空き家を災害拠点として活用。

交通

行動パターン分析で  
脱炭素・マイカー卒業社会

市民行動データに基づく公共交通等の最適化

- 東京大学の行動パターン分析に基づく各種交通サービスの最適な組み合わせの実現。
- ダイナミックプライシング(需要に応じた可変的料金)の導入。
- 「空飛ぶクルマ」により「陸の孤島」解消。

医療

子どもからお年寄りまで  
心身の健康を守る

バイタル・検診データの活用による早期対応

- センサー等を活用し、家電等が子どもの「心の声」をキャッチし、いじめなどに早期対応、予防医療を実現。
- 学校保健データと大人になってからの各種健診データの組み合わせによる、生活習慣病や認知症等の早期治療実施。



2021年10月

延岡市はスーパーシティ  
国家戦略特別区域の  
公募に挑戦しています。

もっと豊かに、もっと元気に  
もっと明るく、もっと安全・安心に

デジタル化とは「一人ひとりが主役」の時代をつくることです。

働く場所も働き方も、学び方も暮らし方も、医療も福祉も「与えられるもの」から「自分で決められるもの」へと変わります。

大都市圏との距離をなくすデジタル社会では、延岡市はもう「陸の孤島」ではありません。

市民の皆様は住み慣れた自宅で100年安心して暮らせる。子供達も、他人に合わせるのではなく自分らしく生きる。産業ももっと稼げる。

デジタル化によって私たちは、もっと豊かに、もっと元気に、もっと明るく、もっと安全・安心に、働き、学び、暮らせるようになります。

その実現に向けて、一緒にスーパーシティづくりに取り組んでいきましょう。



I - ②  
令和3年度  
スマートシティ関連事業に採択



# 市民一人ひとりが主役の時代をつくる延岡市のスマートシティ推進事業

## ～スマートシティ関連事業に応募～ 11

活用技術： AI、ビッグデータ、自動運転、キャッシュレス、SIP

目指す  
将来像

子どもから大人まで一人ひとりの個性や能力を大切にしながら「製造業のまちならではの学び」を推進し、市民の「自地域肯定感」を育む安心・安全で、かつ利便性の高い社会をつくり、我が国のお家芸である製造業を中心に、市民が主役のまちを目指す。

解決すべき  
課題

高い質の教育を担保できない地方都市は、単身赴任を選択されやすく、高度人材の確保が難しい。公共交通の利便性を高めていかなければ、運転免許の返納が難しい。持続可能な地域づくりのため市民がより積極的にまちづくりに参加する仕組みが必要。

### ■実装を目指す主な事業内容

#### 事業1： 知力・体力・人間力を育む「世界一の子育て・教育のまち延岡」事業

活用技術	事業概要
AI ビッグデータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>「延岡こども未来創造機構」を設立し、学びの「ログ」化等により児童生徒一人ひとりの到達度に合った学習ができる環境を整備</li> <li>児童生徒のバイタルデータから体調の変化や心の不調などを把握し、学校における不登校児童の兆候を把握（医療×教育データ連携）</li> </ul>

#### 事業2： 行動パターン分析による交通網の最適化事業（マイカー卒業社会の実現）及び「逃げ遅れゼロ」の避難対策構築事業

活用技術	事業概要
AI ビッグデータ 自動運転	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動パターン分析によるバス路線・時刻表・停留所等の最適化。</li> <li>シェアサイクル、デマンド交通、自動運転等の組合せによる交通ネットワークの構築により、バスでカバーできないニーズに対応</li> </ul>

#### 事業3： 行動変容・行動誘発に寄与する地域ポイント活用サービス事業

活用技術	事業概要
キャッシュレス	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康に寄与する活動、ボランティア活動、SDGsに貢献する行動、健康づくりに関する活動等に対してポイントを付与しながら、行政の負担を軽減しつつ、市民の力で社会をより良くするためのキャッシュレスプラットフォームを構築</li> </ul>



図1：延岡こども未来創造機構



図2：行動パターン取得アプリ



図3：健康長寿ポイントアプリ

# 市民一人ひとりが主役の時代をつくる延岡市のスマートシティ推進事業

～スマートシティ関連事業に採択～ 12

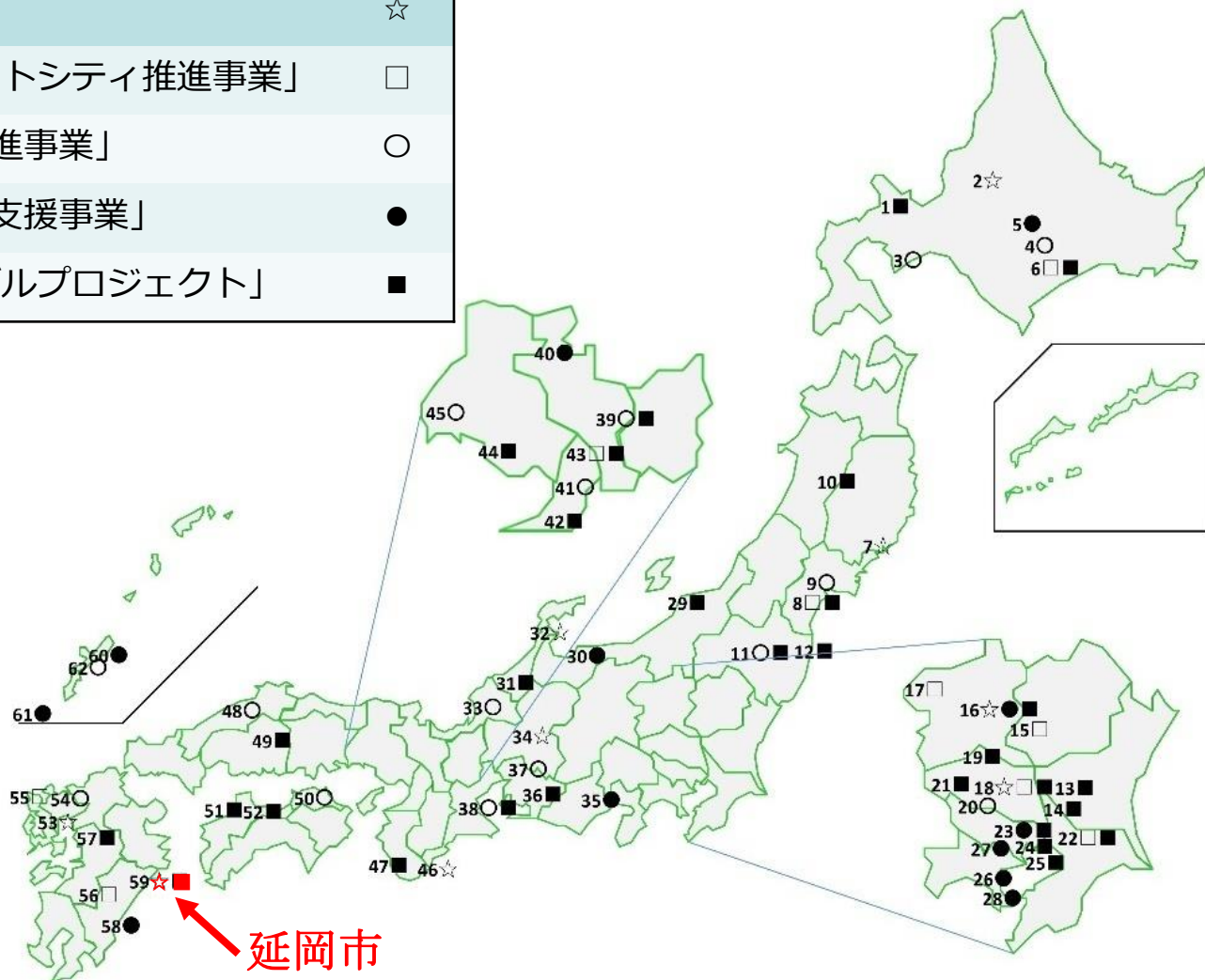
R3.8.24

## 令和3年度スマートシティ関連事業に採択 (全国で62地域の事業が選定)

内閣府「未来技術社会実装事業」	☆
総務省「データ連携促進型スマートシティ推進事業」	□
経済産業省「地域新MaaS創出推進事業」	○
国土交通省「日本版MaaS推進・支援事業」	●
国土交通省「スマートシティモデルプロジェクト」	■

### 期待される効果

- ①教育の充実
- ②災害に強い安心のまちづくり
- ③延岡への企業進出・雇用創出
- ④国の関係府省庁事業の集中投資等



### 延岡市未来技術地域実装協議会推進体制

市民・企業・政府・自治体などが一体となって事業を推進

#### 内閣府

警察庁

厚生労働省

総務省

経済産業省

文部科学省

国土交通省

**【ハンズオン支援】**  
地方創生推進交付金等の  
各種交付金、補助金等と協調した支援

#### 民間事業者等

東京大学  
ソーシャルICT研究センター

東京学芸大学  
教育インキュベーションセンター

慶應義塾大学  
SFC研究所

宮崎大学

国立循環器病  
研究センター

九州保健福祉大学

リクルート

凸版印刷

三菱電機  
インフォメーションシステムズ

宮崎交通

宮崎県タクシー協会  
延岡支部

旭化成 延岡支社

旭化成ネットワークス

ケーブルメディア  
ワイワイ

フェリカポケット  
マーケティング

延岡市商店会連合会

事業推進への助言・協力

延岡市

## リアル&リモートのハイブリッドで開催



令和3年12月開催時

# I - ③ 具体的な取組状況

○令和4年度(令和3年度補正含む)  
デジタル田園都市国家構想推進交付金



# 【宮崎県延岡市】 デジタル田園都市国家構想交付金 交付額

令和4 + 5年度(新規) デジタル田園都市国家構想交付金  
(広域連携事業を除く)

16

**交付金交付額 全国 第3位 (九州 第1位)**

※事業費ベース 1,220,000千円 (交付金ベース 748,012千円)

単位:千円

順位	自治体名	デジタル実装タイプ	地方創生推進タイプ (新規)	合計
1	群馬県前橋市	1,008,169	18,000	1,026,169
2	北海道河西郡更別村	825,137	118,865	944,002
3	宮崎県延岡市	650,897	97,115	748,012
4	茨城県猿島郡境町	695,144	0	695,144
5	神奈川県小田原市	655,152	0	655,152
6	福島県会津若松市	641,832	0	641,832
7	奈良県	604,228	12,868	617,096
8	岡山県加賀郡吉備中央町	567,792	0	567,792
9	福岡県	300,598	208,347	508,945
10	大阪府豊能郡豊能町	497,688	0	497,688

<国の交付金ベース/内閣官房・内閣府総合サイト公表資料より算出>



### 令和4年度（令和3年度補正） デジタル実装タイプ（TYPE1）採択事業

① 脱マイカー社会推進のためのオンデマンド交通導入事業

② 安心と温もりの市民参加型GISクラウドサービス構築事業

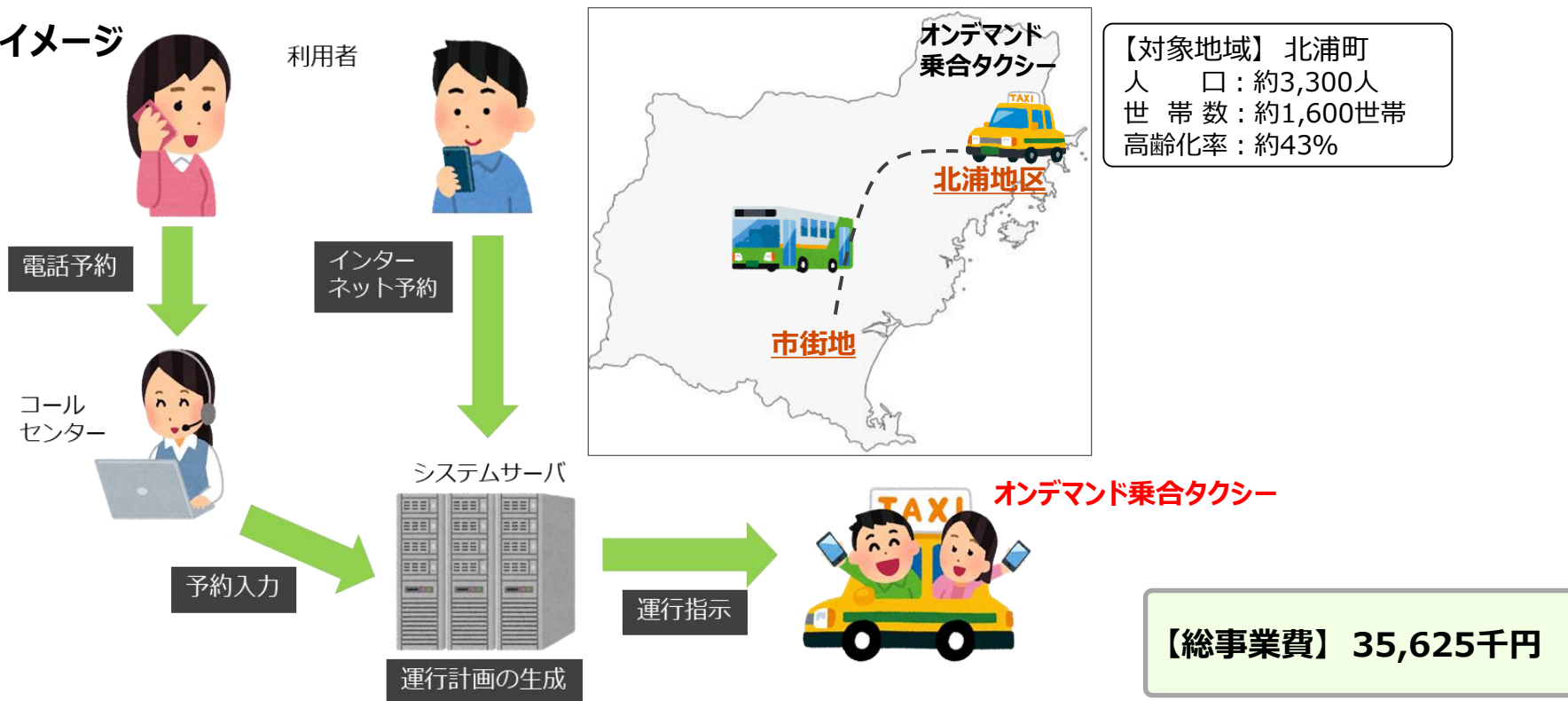
③ 誰一人取り残さないポータルアプリの構築事業  
～交流人口・関係人口も拡大～

# ①脱マイカー社会推進のためのオンデマンド交通導入事業

人流データを分析し、利用者に合わせた「オンデマンド乗合タクシー」を導入

- ◇人流データ収集・分析、運行内容の検討
- ◇路線バスとの役割分担・補完関係の検討 ⇒ オンデマンド乗合タクシーの運行
- ◇交通モードのベストミックスの検討

## 事業イメージ



# ①脱マイカー社会推進のためのオンデマンド交通導入事業

令和4年11月1日

オンデマンド交通「チョイソコのべおか」出発式

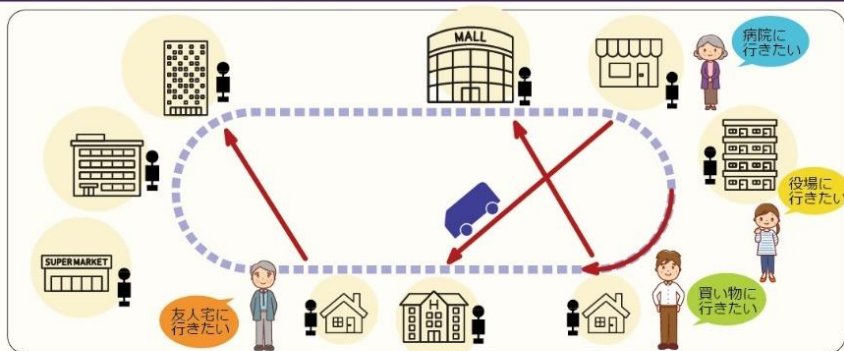


# ①脱マイカー社会推進のためのオンデマンド交通導入事業



## チョイソコのべおか運行

ご希望のタイミングで行きたい場所に利用いただけます。



### チョイソコのべおかって何？

- 停留所から停留所までの乗合い送迎サービスです。
- ご利用には事前の会員登録と乗車予約が必要です。
- 交通事情や他のお客様の乗合いなどにより、到着時間が前後することがあります。
- 車が到着した際にお客様が不在の場合、お待ちできないことがあります。
- 状況によりご希望に添えない場合もありますので早めのご予約をお薦めします。
- キャンセルの場合も、お電話で連絡をお願いします。

## 1. 会員申し込み



チョイソコのべおか  
会員登録申込書に必要事項を記入し  
郵送します。

お問合せ  
総務部 地域・離島・交通政策課  
電話：0982-22-7039

## 2. 会員証郵送



カードサイズの会員証が送られてきたら  
ご利用可能です。

## 3. ご利用開始



みなさんでお出かけの際に  
ぜひご利用ください！

## 4. 乗車申し込み

### 電話受付

8:00～16:30

会員登録に記載している  
番号におかけください。



- ①お名前と会員番号
- ②利用希望日
- ③乗り場と行き先
- ④来てほしい時刻または、  
目的地に着きたい時刻



オペレータに上記の希望をお伝えください。  
お帰りの乗車分も一緒に受付いたします。

### インターネット受付

24時間

<https://nobooka.aisin-choisoko.com>



マニュアルに沿って必要事項を入力してください。

## 5. 停留所で待つ

買い物  
に行きたい



病院に  
行きたい

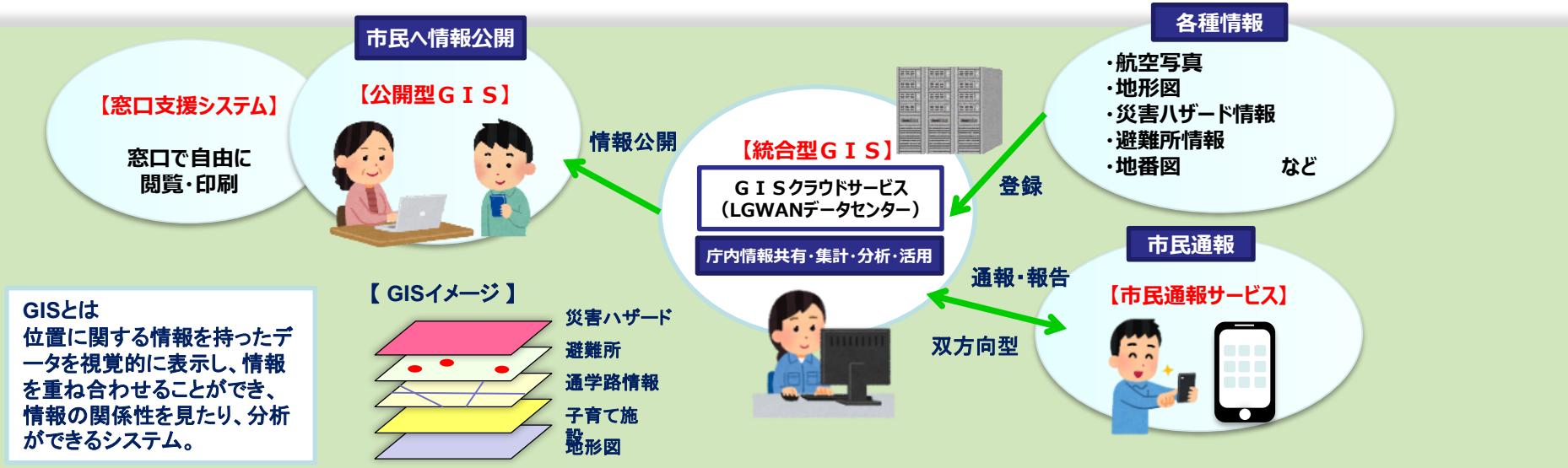


役場  
に行きたい



- 指定停留所で5分ほど前からお待ちください。
- 携帯電話をお持ちいただくことをお勧めします。

# ②安心と温もりの市民参加型GISクラウドサービス構築事業 21



**GISとは**  
位置に関する情報を持ったデータを視覚的に表示し、情報を重ね合わせることができ、情報の関係性を見たり、分析ができるシステム。

**【GISイメージ】**

- 災害ハザード
- 避難所
- 通学路情報
- 子育て施設
- 地形図

**【公開型GIS】**

市内で各部署が保有する、暮らしの情報、防災情報などをデジタル地図上に表示でき、市民へ公開することができる。

- ・地形図、航空写真
- ・公共施設情報
- ・都市計画情報
- ・公園情報
- ・災害ハザード情報
- ・避難所、AEDマップ
- ・子育て施設情報
- ・道路情報 など

- ◆ インターネット経由で利用が可能
- ◆ 住民や事業者が好きな場所からいつでも情報を見ることができ、自由に活用できる。

**【統合型GIS】**

市内で各部署が保有する、住所や地番、座標などの位置情報を持った様々な地域情報を地図上に表示することができ、市内で共有することができる。

- ・地形図、航空写真
- ・公共施設情報
- ・都市計画情報
- ・学校の通学路
- ・街路灯の情報
- ・福祉に関する情報
- ・道路情報 など

- ◆ LGWAN-ASP経由で利用が可能
- ◆ 職員がデータを自由に取り込んだり、資料をファイリングすることができる。
- ◆ 特定のエリアを指定した、情報検索やデータ集計ができる。

**【市民通報サービス】**

市民が市に直接レポートできるサービスを提供できる。

- ◆ 市民は対応状況を確認することができる。
- ◆ 統合型GISにデータが蓄積され分析することもできる。

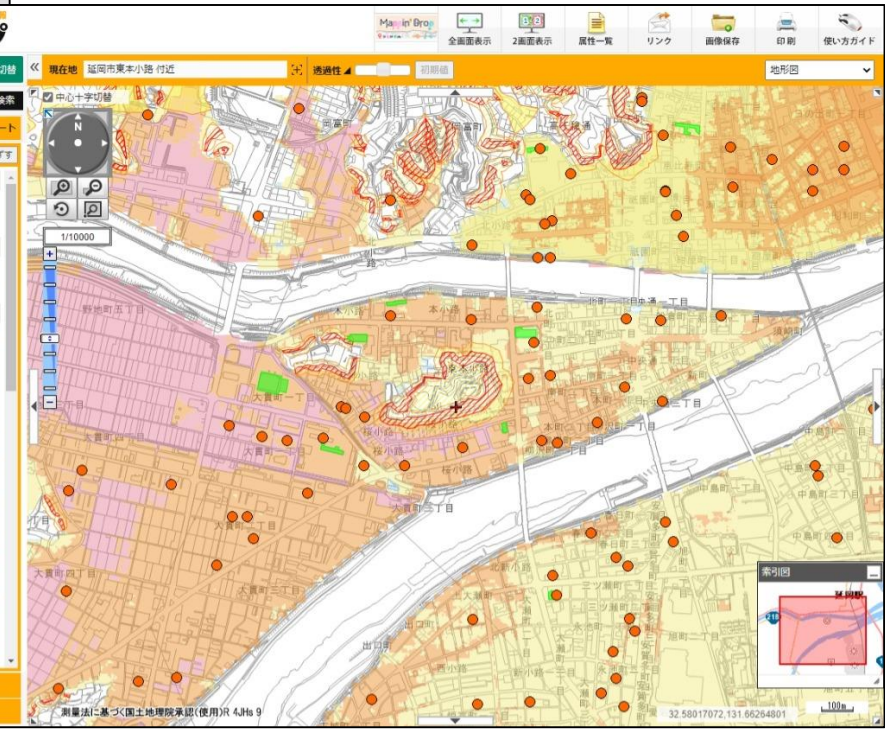
**【窓口支援システム】**

公開型GISを市役所を訪れた方が自由に利用できる。

- ◆ インターネット環境が身近にない方でも、市役所で利用が可能。

**【総事業費】 106,512千円**

## 公開型GIS「のべおかeマップ」



## 市民通報サービス「延岡市民レポート（のべレポ）」



### 延岡市民レポート（写真を追加）

市民投稿システム

延岡市民レポートへの情報ありがとうございます。  
新規投稿は下記の入力。  
あなたの投稿内容を  
確認するには右のボ  
タンを押してくださ  
い。

投稿項目 (必須)  
道路の穴まこ

写真 \*複数枚可  
写真を追加...

位置情報をオンにして撮影

周りの風景がわかる写真

近くから撮影した写真

### 延岡市民レポート（コメントを記入）

写真を追加...

コメント欄 (必須)

状況: 道路に穴があいています  
場所: ○○町の○○交差点付近です

状況や場所について記入します

投稿内容の確認

### ③誰一人取り残さないポータルアプリ構築事業

市公式アプリ等の登録情報やログイン機能を一元化する「ポータルアプリ」を構築

- ◇市の公式アプリやWEBサービスの情報・機能などを一元化する「ポータルアプリ」を構築
- ◇既存公式アプリの改修・機能追加
- ◇デジタルデバイト対策の実施
- ◇地域内経済の活性化

#### 事業イメージ

##### 市公式アプリ



##### 連携アプリ



##### ポータルアプリ



##### WEBサービス



##### 市HP・ポータルサイト



【総事業費】 55,499千円



# ③誰一人取り残さないポータルアプリ構築事業

令和4年12月1日 リリース!

## 延岡市の関連アプリがこれ1つに!



延岡市が提供しているさまざまなアプリを一つにまとめ、市からのお知らせや防災・健康情報など、日常生活において需要の高い分野の行政情報を、スマートフォンで気軽にご覧いただけるアプリです。便利なデジタルサービスを今後も続々追加していきます。



4つをまとめた 便利なアプリをご利用ください。

¥0 アプリのダウンロード無料

生活に役立つ情報が収集可能  
お得なポイントも貯まる

アプリをスマートフォンにインストールすれば、ご利用いただけます。

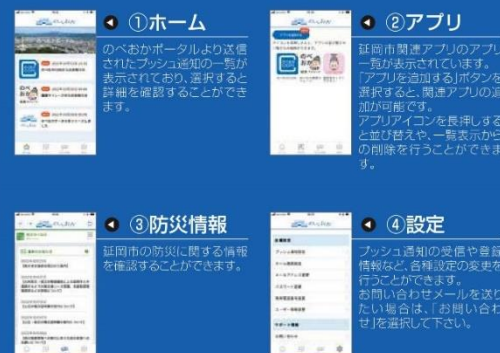
iOSの方はこちらからダウンロード



Androidの方はこちらからダウンロード



アプリの使い方



### ③誰一人取り残さないポータルアプリ構築事業

のべおかCOIN30%パワーアップ!  
プレミアムポイントキャンペーン!!



のべおかCOIN  
ダウンロード17,000人突破記念  
8月8日（月）スタート

プレミアムポイント30%

20,000円チャージ  
上限6,000ポイント付与

↓ 上限UP

50,000円チャージ  
上限15,000ポイント付与

**パワーアップ**  
プレミアム  
ポイントチャージ  
キャンペーン!!!

**上限UP**

加盟店マネーチャージで  
令和4年 8/8月 ~ 30%Pt付与!

※6月9日スタートのキャンペーンと合わせて1億2,000万ポイント付与次期終了とさせていただきます

上限6,000Pt → 15,000Ptへ!!

すでに20,000円チャージされた方	これからチャージされる方
(例)30,000円の現金チャージで	(例)50,000円の現金チャージで
30%ポイント 9,000Pt付与!	30%ポイント 15,000Pt付与!

※販売チャージした翌月曜日に付与されます(但し月曜日が祝日の場合は翌日火曜日に付与されます) ※令和4年8月7日(日)まではポイント付与の上限は6,000ポイントとなります

**ダウンロード17,000人突破!!**

お申し込み・お問い合わせ  
のべおかCOIN加盟店事務局(株式会社エン)  
〒882-0053 宮崎県延岡市幸町2-125 ココロツタ延岡2F enbroad内  
TEL:0120-070-260 © https://www.nobeco.jp info@nobeco.jp

App Store からダウンロード

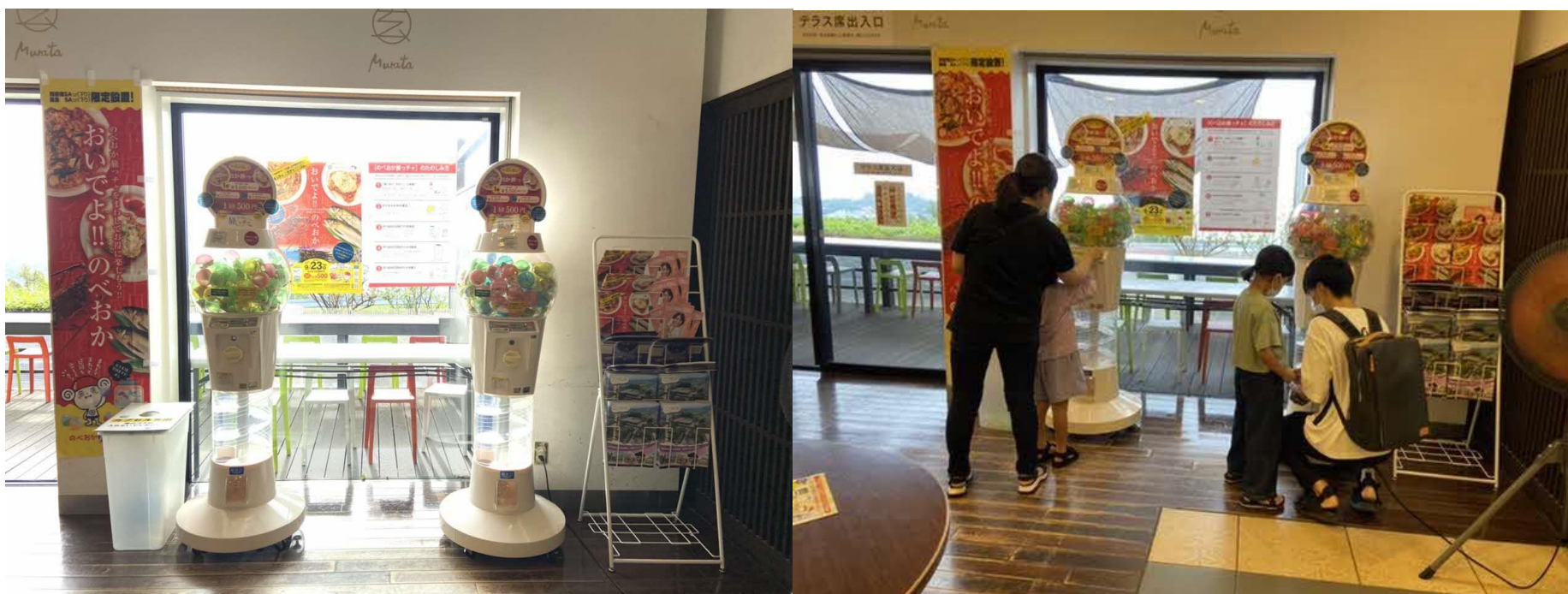
Google Play からダウンロード

詳しくはこちら

### ③誰一人取り残さないポータルアプリ構築事業



別府湾SA (下り) 霧島SA(下り) 2か所限定で設置 **11月で終了**



# ③誰一人取り残さないポータルアプリ構築事業

**別府湾SA(下り) 霧島 SA(下り) 限定設置!**

**おいでよ!! のべおか**

のべおか旅っチャをまわして お得に楽しもう!!

**2022年 9/23(金) なくば1次終了**

お1人様 1回¥500

スマートフォンのQRは2個しか読み取れません。ご購入後の返金には応じかねますのでご注意ください。※転売は禁止とします。

詳しくは裏面をご覧ください

別府湾サービスエリア(下り)・霧島サービスエリア(下り)に延岡市でご利用可能な「のべおかCOINポイント」が入手できるカプセル自動販売機を設置しています。1回¥500で¥5,000・¥3,000・¥1,000分のポイントが抽選で当たります。さあ入手したポイントで延岡市を満喫しよう!

のべおかCOINに属するお問い合わせ先  
 のべおかCOIN加盟店事務局Tel.0120-070-280  
 〒860-0053 延岡市東町2-25 コスモビル2F ① 0982-29-2155  
 〒860-0053 延岡市東町2-125 コスモビル2F ② eno@nobe.jp  
 10:00~17:00(土曜・日曜・祝日を除く) ③ https://www.nobe.jp/coin/index.html

【新型コロナウイルス感染症拡大防止により】キャンペーンのご参加については、各自店舗の感染状況等を考慮の上、ご利用をお断りいたします。状況によりキャンペーンの内容が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

**のべおか旅っチャ × のべおかCOIN**

延岡市地域通貨 のべおかCOIN ためて楽しい!使ってうれしい!!

**のべおか旅っチャとは**

別府湾サービスエリア(下り)・霧島サービスエリア(下り)に延岡市でご利用可能な「のべおかCOINポイント」が入手できるカプセル自動販売機を設置しています。1回¥500で¥5,000・¥3,000・¥1,000分のポイントが抽選で当たります。さあ入手したポイントで延岡市を満喫しよう!

**のべおかCOINとは**

市民が様々なまちづくり活動への参加や市内店舗での消費にポイントを発行する機能と、市民が現金で電子マネーをチャージすることのできるキャッシュレス機能をも兼ね備えたアプリで、ポイントも電子マネーも市内加盟店でご利用いただける新たな地域通貨です。(加盟店470店舗以上)

**おひとり様2個までのご購入OK!**

※スマートフォン1台につきQRは2個しか読み取れません。返金には応じかねますのでご注意ください。

別府湾SA(下り線)と霧島SA(下り線)に設置されている「のべおか旅っチャ」に挑戦!

**1回 ¥500! ハズレなしでお得!**

**のべおか旅っチャ抽選**

1等 ¥5,000分のポイント ▶ 200個  
 2等 ¥3,000分のポイント ▶ 600個  
 3等 ¥1,000分のポイント ▶ 1,200個

**のべおか旅っチャのご利用方法**

- ① のべおかCOINアプリをダウンロード登録してね!!  
 App Store からダウンロード  
 Google Play からダウンロード
- ② スマートフォンのカメラもしくはQRリーダーアプリにてカプセルの中に入っている「のべおか旅っチャ」QRを読み取ってください。
- ③ 「のべおかCOINアプリ」のアカウントにてログインしてください。
- ④ お住まいの郵便番号をご入力ください。
- ⑤ 正常にログインすると自動的にのべおかCOINポイントが付与いたします。

**チャージ・ポイント利用期限 令和5年2月28日** 期限日を過ぎますと無効となります。返金には応じかねます。

**注意** ▶ ひとつのQRは1台のスマートフォンのみでしか読み取りできません。1台のスマートフォンで2個までのQRを読み取りできます。※3個目のQRは読み取りできません。※転売は禁止とします。

## シニア向けスマートフォン教室 ～デジタルデバイト対策～



### 令和4年度（当初） デジタル実装タイプ（TYPE2）採択事業

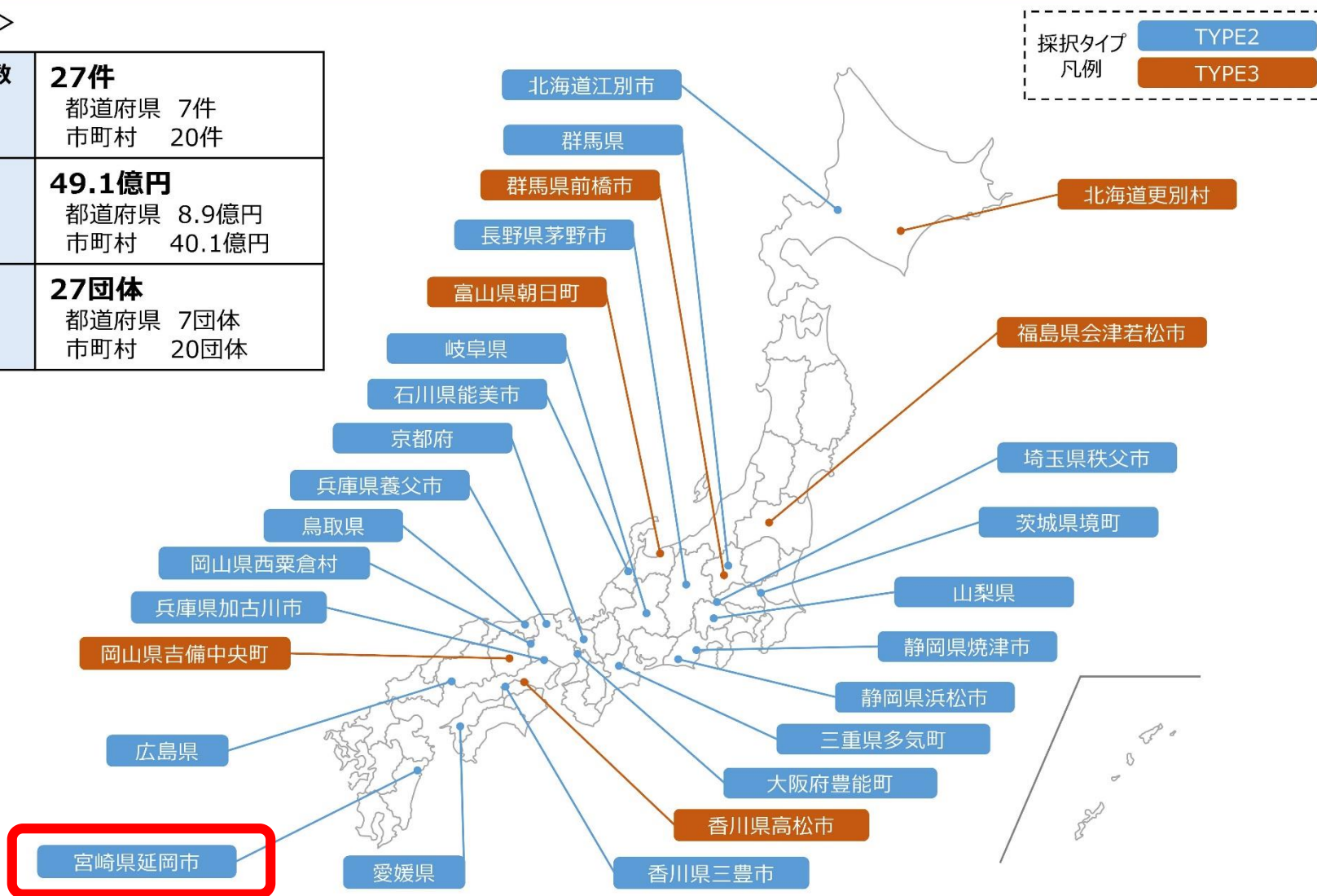
データ連携基盤と次世代モビリティを活用した“救急”サービス

九州では唯一、延岡市の事業が採択

- デジタル実装タイプ（TYPE2/3）はデータ連携基盤を活用し、複数のサービス実装を伴う取組を行う地方公共団体の取組を支援
- 採択事業件数（団体数）は27件（団体）、採択金額（国費）は約49億円

### <採択結果>

採択事業件数	<b>27件</b> 都道府県 7件 市町村 20件
採択金額 (国費)	<b>49.1億円</b> 都道府県 8.9億円 市町村 40.1億円
採択団体数	<b>27団体</b> 都道府県 7団体 市町村 20団体



**九州で唯一採択**

## 救命救急医療の対応力の強化、救命率の向上を図るためのシステムを構築

- ◇ 個人が健康データを入力・管理するアプリを導入
  - ◇ 救急搬送時のトリアージを最適化するシステムを導入
  - ◇ 救急搬送時に病院と救急隊とで傷病者の医療情報を共有するシステムを導入
  - ◇ 救急搬送の最適な運行管理を行うシステムを導入
- ◇ 同時に構築する【データ連携基盤】を通して、これらのアプリ・システムを連携

**搬送時間の短縮・迅速な受入・スピーディかつ適切な医療措置**

**救命率を向上させる！**



# “救急”サービス 運用イメージ図

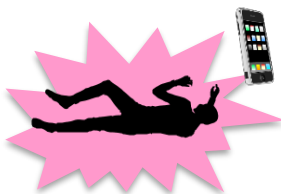
システム分析⇒最適なトリアージの実施



アプリから診療情報等の取得  
AEDからバイタルデータ取得

傷病者の状態情報等を共有

医療情報の共有  
適切な医療処置



健康・診療データ  
の入力管理



救急車・ドクターカー

迅速・的確な医療処置

搬送時間短縮

最適な搬送経路

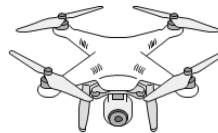


搬送先病院

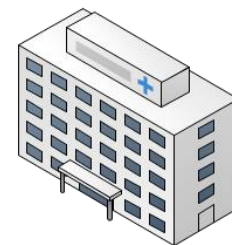


ドクターヘリ

または



空飛ぶクルマ



大学病院等

救急搬送の運行管理  
(救急車・ドクターカー・ドクターヘリ  
・空飛ぶクルマの最適な選択)

参考

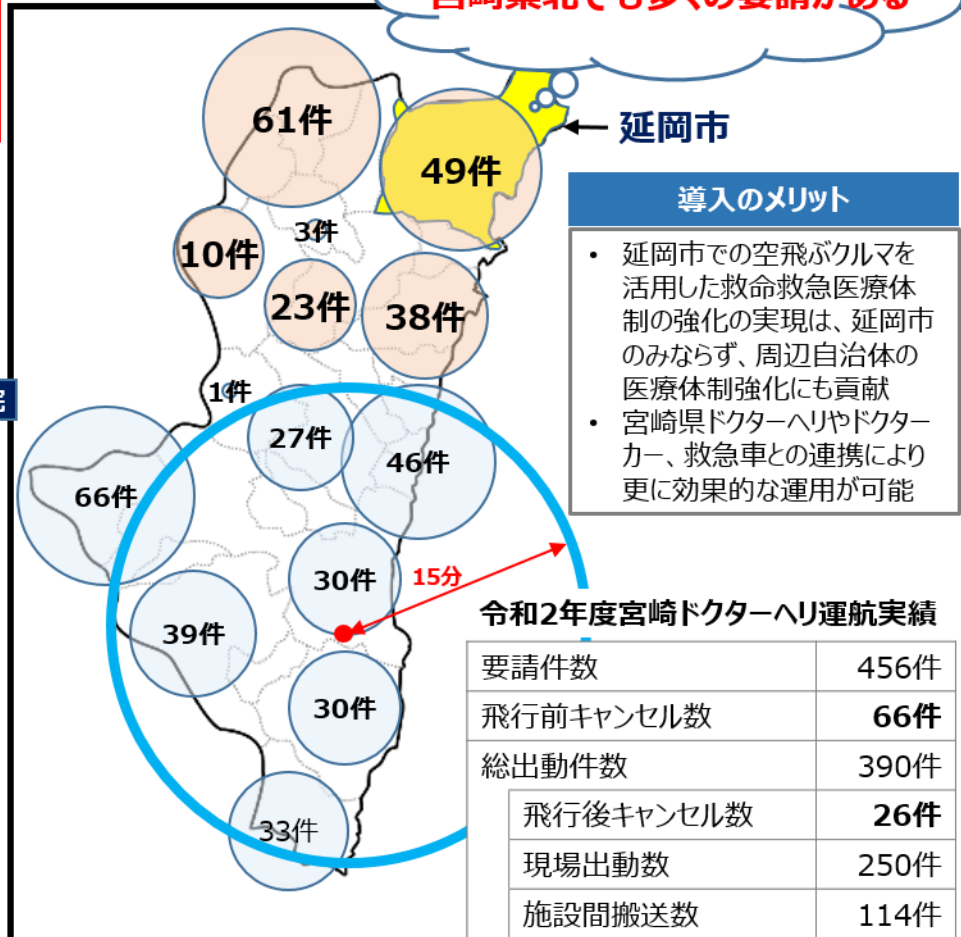
# 延岡市の救命救急医療への対応力強化 ～空飛ぶクルマサービスの導入が急務～

出勤要請から15分以内に医師による治療開始を目標とするドクターヘリの運用(「15分ルール」)において、延岡市及び宮崎県北部地域は、宮崎市の基地病院から15分圏内に含まれておらず、救命救急医療の対応力強化が課題



○ 各県のドクターヘリが約15分で到着可能な範囲 (基地病院から55km圏のイメージ図)

宮崎県北でも多くの要請がある

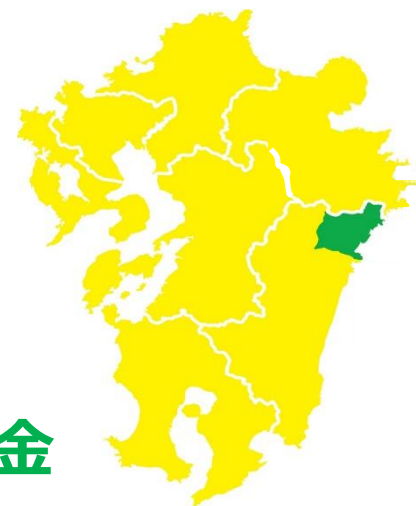


宮崎市からの出勤は、悪天候や日没までの運行時間が理由で対応できないケースがある。空飛ぶクルマで延岡から出勤できれば、延岡を中心とした県北部における救命救急が飛躍的に拡充される

# I - ④ 具体的な取組状況

○令和5年度（令和4年度補正含む）

デジタル田園都市国家構想交付金



### 令和5年度（令和4年度補正） デジタル実装タイプ採択事業

①のべおかポータルと新マイキープラットフォームを活用した  
「行かない市役所」構築事業

②平時・災害時共通 住民・関係人口との  
相互コミュニケーションによるWell-beingの実現

## 【事業名】

のべおかポータルと新マイキープラットフォームを活用した「行かない市役所」構築事業

・採択額 287,520千円

(交付対象事業費 287,520千円／国費100%)

マイナンバーカード利用  
横展開事例創出型  
【TYPE X】

## 【事業概要】

地域課題の解決や魅力向上等の地方創生につながる本市独自の各種施策の推進に合わせ、市民カード化構想における新マイキープラットフォームを活用し、本市が令和4年度にデジタル田園都市国家構想TYPE1及びTYPE2で実装した、住民向けフロントサービスである「のべおかポータル」とデータ連携の要となる「データ連携基盤」を連携し、行政手続の一气通貫したデジタル対応による「行かない市役所」（①オンライン申請とデジタルチケット（子ども医療費受給資格証）の発行、②オンライン面談・相談、③図書館システムの構築）を実現させ、住民サービスの向上及び行政事務の効率化を図る。



【事業名】

平時・災害時共通 住民・関係人口との相互コミュニケーションによるwell-beingの実現  
 ・採択額 99,575千円  
 (交付対象事業費 199,150千円/国費50%・残りの市費負担額は交付税措置)

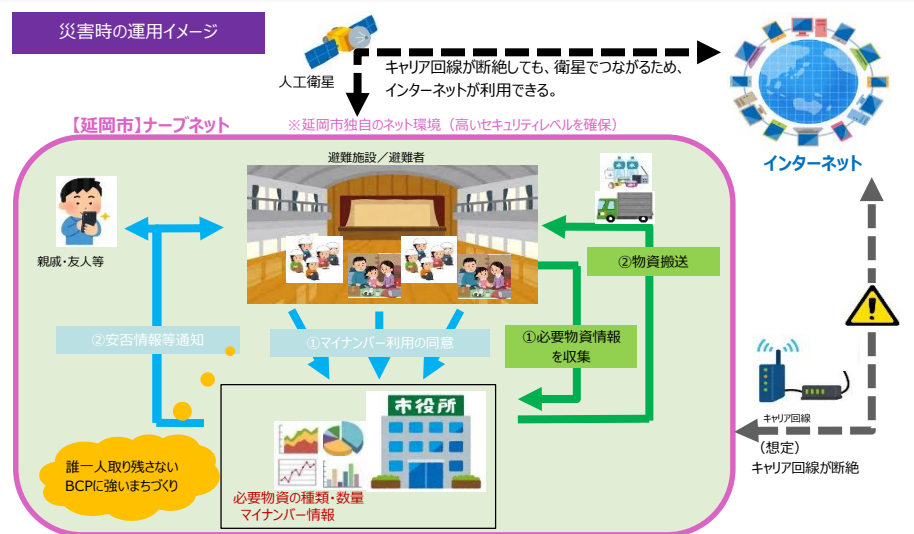
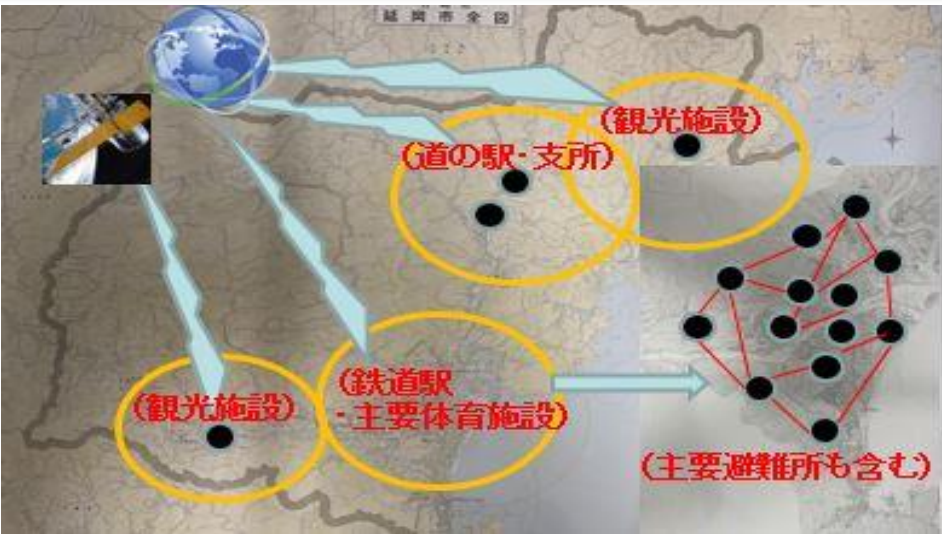
優良モデル導入支援型  
 【TYPE 1】

【事業概要】

自治体情報掲示板利用者、システム内のWi-Fi環境利用者、市公式サイト利用者の個人情報保護に関する同意管理を実施し、通常の方法では、行政が知り得ない個人の情報をシステム内で入手し、平時の関係人口の情報把握や観光客や市民のニーズ把握、市公式サイトへのアクセス状況分析などにより、個別最適化された情報提供を可能とするとともに、地域通貨と組み合わせて市内消費の拡大を図る。

また災害時においても、自前のネットワークを構築することで、ネットワーク内でのインターネットを含む通信が可能とすることにより、外部サーバー故障によるネットワークダウンや携帯電話回線の規制時においても、必要な情報を伝達することが可能とするとともに、さらにセキュアな通信環境で情報を伝達できるので個々人の支援や生活必需品の確保も可能とする。

こうした平時と災害時の両方に対応したまちづくりを展開することにより、人口減少等に歯止めをかけ、地方創生の推進を図る。



～地方創生推進タイプ～

## 令和5年度（当初） 地方創生推進タイプ採択事業

① 「新技術で命を守る」スマートシティ推進事業

② 「自然といのちを大切にできる地域づくり」による  
移住・交流人口増促進事業

# ①「新技術で命を守る」スマートシティ推進事業

40

Society5.0型

## 【事業名】

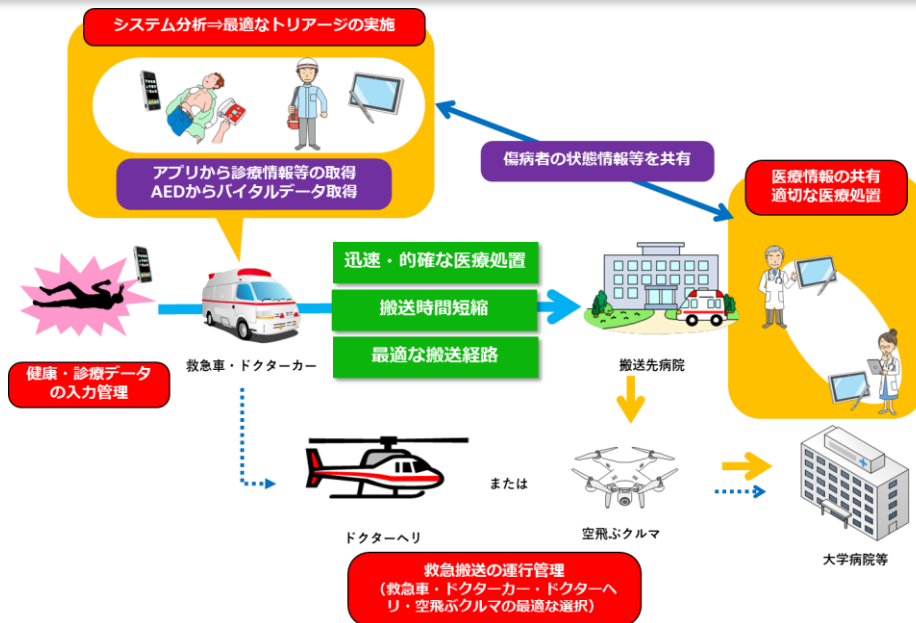
「新技術で命を守る」スマートシティ推進事業

・採択額 56,746千円

(交付対象事業費 113,492千円／国費50%・残りの市費負担額は交付税措置)

## 【事業概要】

専門家や医療・防災関係者と連携し、実際に「空飛ぶクルマ」の試験飛行を行うとともに、各種シミュレーション等の実施などにより「空飛ぶクルマ」の実装を実現する。それと並行して、「一人でも多くの命を救う」ために、新たな救急搬送システムの高度化を進める。



参考

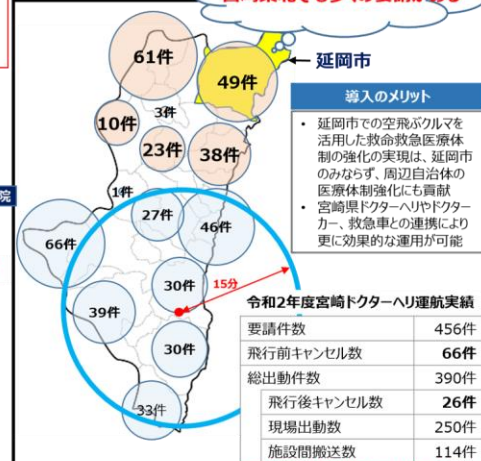
## 延岡市の救命救急医療への対応力強化 ～空飛ぶクルマサービスの導入が急務～

出動要請から15分以内に医師による治療開始を目標とするドクターヘリの運用(「15分ルール」)において、延岡市及び宮崎県北部地域は、宮崎市の基地病院から15分圏内に含まれておらず、救命救急医療の対応力強化が課題



各県のドクターヘリが約15分で到着可能な範囲 (基地病院から55km圏のイメージ図)

宮崎県北でも多くの要請がある



宮崎市からの出動は、悪天候や日没までの運行時間が理由で対応できないケースがある。空飛ぶクルマで延岡から出動できれば、延岡を中心とした県北部における救命救急が飛躍的に拡充される



# 「新技術で命を守る」スマートシティ推進事業（宮崎県延岡市）

## 事業内容

### 地域課題

- ・九州で2番目の広い市域を有するのみならず、大学病院等の高度医療拠点から遠く、人命救助の別れ目とされる「15分ルール」（ドクターヘリの片道15分・往復30分以内の距離でなければ救命率が大きく下がる）の外に位置する本市にとって、「一人でも多くの命を救う」救急搬送システムの確立が急務
- ・深刻な医師不足問題や救急患者受入体制問題が長期間にわたり未解決
- ・南海トラフへの備えとして、道路寸断時にも医療サービスや食糧等を届けるための防災対応力の強化が急務

### 未来技術を活用した取組

- ・「空飛ぶクルマ」を救急用で活用し「一人でも多くの命を救う」救急搬送システムを確立
- ・「空飛ぶクルマ」を災害時の医療や救援物資運搬等にも活用
- ・上記の実現のため、関係者と連携して「空飛ぶクルマ」実用化前から医療関係者や防災関係者の意見・ニーズ等を把握し実用化に反映

### 地方創生に資する効果と目指す新たな社会システムの姿

- ・救急搬送時間の短縮や医療措置の迅速化、救援物資の確実な搬送などにより、「一人でも多くの命を救う」医療・輸送サービスを実現
- ・先進的医療の実施により、医師研修の場としての魅力を高め、意欲的な医師を確保
- ・人口減少の抑止や交流人口増にとって必要不可欠な「安全・安心」を高め、持続可能な地域づくりを推進

## 国・専門家等と協働したPDCAサイクル

【事業推進主体】  
QaaSコンソーシアム  
事業実施主体 / 延岡市

↑ ↓ 連携

慶應義塾大学大学院SDM研究所  
「空飛ぶクルマ研究ラボ」

NEXTAA  
「空飛ぶクルマ」による医師搬送システム検討コンソーシアム  
代表：中野冠 / 慶應義塾大学空飛ぶクルマ研究ラボ代表

地元医療・防災関係者

事業計画(P)から実施(D)・検証(C)、  
そして検証を踏まえた対応(A)を実施

検証委員会  
(医療・防災関係者・有識者等で構成)

【事業推進主体】  
QaaSコンソーシアム  
事業実施主体 / 延岡市

検証(C)及び検証を踏まえた対応(A)の  
確実性を向上

## 交付申請額等

(交付金対象事業経費)  
113,492千円 (R5年度)

(交付金申請額)  
56,746千円 (R5年度)

(主な費用項目)  
・R4年度にデジ田交付金 (TYPE2) により構築したデータ連携基盤を活用した救急搬送システムの高度化及び課題解決  
・「空飛ぶクルマ」の医療・防災用途での活用に向けた調査・検討・実証等

## モデル事業としてのポイント

### 未来技術の 必要性・有効性

- ・高度医療拠点から遠く、また、津波被害等が懸念される地方都市が最新のテクノロジーを活用することにより、市民の安全・安心を確保し、持続可能な地域づくりを推進するために必要不可欠な取組。
- ・具体的には、「空飛ぶクルマ」の救急搬送や救急物資輸送等での活用を実現。

### PDCA サイクルの確保

- ・慶應義塾大学大学院SDM研究所（「空飛ぶクルマ研究ラボ」を有している）と連携協定を締結済。その協定により、専門的分野においては、NEXTAA（代表：中野冠慶應義塾大学空飛ぶクルマ研究ラボ代表・国協議会座長）と連携し、また医療・防災面の実用化については地元医療関係者・防災関係者とも連携して、ニーズ把握やその反映などを進め、事業の計画（P）から実施（D）、検証（C）、そして検証を踏まえた対応（A）を行う。
- ・さらにNEXTAA代表の中野冠慶應義塾大学空飛ぶクルマ研究ラボ代表や医療・防災関係者も参画する「検証委員会」を設置し、検証（C）及び検証を踏まえた対応（A）を確かなものにする。

### 事業の創造性

- ・2025年に実用化される「空飛ぶクルマ」の活用自体に創造性がある上、GISクラウドシステムやデジタルツインも活用しながら、まだ世界中でどこも実現していない「空飛ぶクルマ」の医療用や防災用での活用を進めることは、非常に高い創造性がある。
- ・また、脱炭素型モビリティである「空飛ぶクルマ」の活用にあたり、本市が昨年11月に「脱炭素先行地域」に選定されたことも最大限活かす考えであり、脱炭素型社会をさらに進めるという創造性も有している。

### 横展開の可能性

- ・高度医療の拠点から遠く離れている都市や津波被害等が懸念される沿岸地域は本市と同様の課題に直面していることから、本市の取組は多くの市町村の課題の解決にも役立ち、全国の市町村への横展開が可能であり必要。
- ・「安心安全の確保なくして、人口減少抑止なし」であることから、全国の自治体にとって、人口減少に歯止めかける上で極めて重要。

## ◇具体的な事業内容（案）

事業名	事業内容（令和5年度～令和9年度）	令和5年度	
		事業内容	事業費
助かる命を増やすためさらなる新技術実装によるQaaSシステムの高度化事業	<p>「空飛ぶクルマ」実装に向け、救急搬送時における映像配信などによる患者情報共有の精緻化など、デジタル医療を実装しながら、QaaSシステムの高度化を図っていく。</p> <p>【具体的な取組案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○救急車内のカメラによる搬送先医療機関へのLive配信を可能とする取組やドクターヘリと救急車の間の患者情報を共有する取組についての調査・検討及び導入可能なものについての順次導入</li> <li>○受け入れ医療機関が搬送患者の生体情報を、常時モニタリングする取組</li> <li>○QaaSシステムの機能改修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急車内にカメラを設置し、搬送先医療機関へのLive配信を行うことや、搬送先医療機関が到着前から搬送患者生体情報を常時モニタリングするなどのシステム導入に向けた調査・検討</li> <li>・課題や市民、医療関係者、防災関係者などのニーズを踏まえた、QaaSシステム（住民健康管理サービス、医療情報共有・コミュニケーションサービス、救急搬送トリアージサービス、救急モビリティ運行管理サービス）の運用・機能改修、GISクラウドとQaaSシステムとの連携のあり方検討・機能改修</li> <li>・ドクターヘリと救急車の間の患者情報共有に向けた調査・検討</li> </ul>	33,992
「空飛ぶクルマ」医療・防災利用促進事業	<p>「空飛ぶクルマ」の導入に向け、専門家や医療・防災関係者と連携をしニーズ把握やその反映をしながら、各種調査・検討を行うとともに、あわせて医療・防災関係者をはじめとした社会受容性を高めるための取組などにより「空飛ぶクルマ」の実装につなげる。</p> <p>【具体的な取組案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「空飛ぶクルマ」の医療・防災利用に向けた各種調査・検討</li> <li>○医療・防災用空飛ぶクルマ実装計画の策定</li> <li>○医療関係者及び防災関係者の参画による「空飛ぶクルマ」の飛行実験及びニーズ把握</li> <li>○「空飛ぶクルマ」製造企業に対する改良提案の作成・実施</li> <li>○社会受容性を高めるための空飛ぶクルマシミュレータの整備・展示、ワークショップ等の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「医療・防災用空飛ぶクルマ実装計画」の策定に向けた基礎調査（機能・性能要件、運用体制・方法に係る調査、運航シミュレーション等）の実施</li> <li>・既存の「空飛ぶクルマ」の医療関係者及び防災関係者の参画による飛行実験及びそれを通じた医療・防災利用のための具体的なニーズ把握及び「空飛ぶクルマ」製造企業に対する改良提案の作成・実施</li> <li>・社会受容性を高めるための空飛ぶクルマシミュレータの整備・展示、ワークショップ等の開催</li> </ul>	64,500
命を守るためのGISクラウドシステム活用事業	<p>GISクラウドシステム等と連携したQaaSシステムの運用による情報を収集し、情報分析の高度化を図るとともに、防災や中山間地域の物流インフラや公共交通等における各種シミュレーション等の実施により、デジタルツインの構築に向けた制度設計を行う。</p> <p>【具体的な取り組み案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○防災、脱炭素先行地域の取組と連携したシミュレーション等の実証</li> <li>○各種実証等を踏まえたデジタルツインの構築に向けた制度設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災、脱炭素先行地域等と連携した取組に向けたデジタルツイン実現のユースケースの調査・整理</li> <li>・GISクラウドシステムを活用した「空飛ぶクルマ」運航ルート確立や運航管理に向けたシミュレーションの計画の策定（実施主体整理、対象業務・サービス、必要なデータの特定、必要なシステムの把握）</li> </ul>	15,000
		合計	113,492

## ◇事業計画期間／実装までのイメージ（5か年間）

2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)
1. QaaSシステム高度化事業				
・救急車内配信システムやドクターヘリとの情報共有システムの導入について調査・検討を行い、導入可能なものについては順次導入				
2. 医療・防災利用「空飛ぶクルマ」導入事業				
・導入基礎調査	・環境整備調査	・機体システム選定、運用体制検討	・実装計画策定	・実装
3. 「空飛ぶクルマ」とGISクラウドシステム連携事業				
・シミュレーション計画作成	・GISクラウドシステム改修	・シミュレーションの実施		・デジタルツイン構築制度設計

本格実装開始

## ◇事業計画期間の交付金対象概算事業費（カッコ内は交付金申請額／申請時の見込額）

2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)
<b>113,492千円</b> (56,746千円)	145,492千円 (72,746千円)	147,527千円 (73,764千円)	245,492千円 (122,746千円)	190,492千円 (95,246千円)

※総額の概算 842,495千円 (421,248千円)

※事業年度ごとに事業内容・事業費を精査しながら国に対して申請する予定

## このプロジェクトが目指している目標

### 【目標1】人口動態（住民基本台帳）における社会動態の減少数を抑制します

- ▶ 市民の安心・安全な暮らしを支える医療インフラを整備することにより、人口減少の抑制につなげていきます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（令和4年度末）	目標値（令和9年度末）
人口動態（住民基本台帳）における社会動態の減少数の抑制	－	100人の減少抑制

### 【目標2】救急医療体制の高度化により、市民の安心感を高めます

- ▶ 救急医療の高度化や災害時対応力の強化が図られることにより、従来より市民の安心感を高めています。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（令和4年度末）	目標値（令和9年度末）
今までより安心感が高まったと回答した人の割合	－	80%

### 【目標3】救命救急時の医療体制への負担を軽減します

- ▶ ・脳梗塞や心筋梗塞の治療開始までの時間をそれぞれ30分短縮するとの目標をもとに今年度構築してきたQaaSシステム（住民健康管理サービス、医療情報共有・コミュニケーションサービス、救急搬送トリアージサービス、救急モビリティ運行管理サービス）の機能改修を図り、救急要請から病院収容までの所要時間の短縮や救急患者情報の事前共有などによる最適な医療処置の提供に向けて取り組むことにより、医療関係者への負担を軽減します。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（令和4年度末）	目標値（令和9年度末）
負担軽減が改善したと回答した医療関係者の割合	－	100%

### 【目標4】研修を希望する研修医や医学生の受け入れ人数を増やします

- ▶ 全国的にも先駆的な医療への取組である本事業に対して、多くの若手医師・医学生が共感を持つことで、本市の医療機関での従事を希望する研修医や医学生が増え、医療受け入れ体制の強化や医師不足の解決につなげていきます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（令和4年度末）	目標値（令和9年度末）
研修を希望する研修医・医学生の受け入れ人数の増加数（延べ人数）	－	14人増加

### 【事業名】

「自然といのちを大切にできる地域づくり」による移住・交流人口増促進事業

・採択額 40,369千円

(交付対象事業費 80,738千円／国費50%・残りの市費負担額は交付税措置)

横展開型

### 【事業概要】

人口減少の顕著な中山間地域等において、農林業の振興を図るため、狩猟免許取得者を増やすのみならず、デジタル技術を活用して、有害鳥獣が人里に近づかないような仕組みを整備し、地域産業の好循環を生み出すとともに、自然や動物と人間の営みの調和に着目した「里山塾」による人材育成にも取り組み、このような自然といのちを大切にできる地域づくりに共感するペット愛好家等の移住や交流人口の増加を図っていく。

また、農業経験のない人でも農業に取り組めるよう、最新の技術を活用したロボットによる稲作支援等に取り組み、新規就農者の確保や移住促進を図り、総合的に地方創生を進める。



## 「自然といのちを大切にす地域づくり」による移住・交流人口増促進事業

### 事業内容

#### 地域課題

- ・中山間地域における、少子高齢化や若者の流出による後継者不足、担い手不足
- ・有害鳥獣による農林作物の被害拡大と狩猟の担い手の高齢化



- ・生産意欲の減少、耕作放棄地の拡大
- ・地域産業の衰退、人口減少の加速化等の負の連鎖

#### 課題解決に向けた新たな取組

- ・専門機関等と連携して「里山塾」を開講し、動植物の生態系と人の営みの調和や、捕獲技術等に関する学びの場を提供
- ・超音波スピーカやセンサー、LED照明などのセンシング技術と、複数の忌避音と光の組み合わせなどによる対策や、罠の効果的な設置などにより、鳥獣が集落に近づかない取組みを検証
- ・鳥獣捕獲場所等のデータを整備、ビッグデータ化し、効率的な捕獲体制を構築、スマートフォンのGPS位置情報を活用して、捕獲班員の労務を軽減
- ・種まきを行うドローンや、除草、耕作、刈り取りなどを行うロボットを導入し、これらを活用した移住者による稲作を支援

#### 地方創生に資する効果

- ・「里山塾」を、全国各地の人々にとっての学びの場とし、またアニマルウェルフェアを重視した地域づくりを推進することによって交流人口を増加
- ・新たな技術による鳥獣捕獲の効率化によって、狩猟者の労務軽減を図りながら、作物被害を効果的に減少
- ・ロボットを活用した稲作支援により、農業経験のない移住者でも農業に取り組める環境を整備して、耕作放棄地の減少と移住を促進
- ・これまでの負の連鎖を断ち切り、新たな好循環を生み出して、持続的で活力のある中山間地域を実現

## ◇具体的な事業内容（案）

事業名	事業内容	事業費
里山塾・鳥獣害対策事業	<p>○ 国の機関や民間の専門機関等と連携して「里山塾」を実施し、動物の生態系と人間の営みの調和について学ぶ場を提供するとともに、実地研修によって、狩猟者の育成、確保を図るなど、持続可能な里山づくりに取り組む。また、超音波スピーカやセンサー、LED照明などのセンシング技術と、複数の忌避音と光の組み合わせなどによる対策や、罠の効果的な設置などに取り組み、鳥獣が集落に近づかない取組みを検証する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害状況確認、ゾーニング調査等</li> <li>・対策機器の開発、設置、効果検証等</li> <li>・「里山塾」開校に係る施設改修、環境整備等</li> <li>・生態系学習、罠仕掛け技術伝承に関する教育カリキュラム、講演会等</li> </ul> <p>○ 鳥獣捕獲場所等のデータを整備、ビッグデータ化し、効率的な捕獲体制の構築を図るとともに、スマートフォンのGPS位置情報を活用し、有害捕獲班員による報告書作成を支援し、捕獲班員の労務軽減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・捕獲データの整理、分析、鳥獣出没・捕獲マップの作成等</li> </ul>	42,836
ロボットを活用した稲作支援事業	<p>○ 稲作において、種まきを行うドローンや、除草、耕作、刈り取りなどを行うロボットを導入し、これらを活用した移住者による取組みを支援することで、移住の促進と耕作放棄地の減少を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・種まき用ドローン、除草や耕作、刈取り等を行うロボット等の導入</li> <li>・サーバー管理費、ロボット操作指導等</li> </ul>	36,000
移住定住促進事業	<p>○ 上記の取組みと併せて、移住相談会への出展などを通じて、移住希望者へ延岡市の魅力を発信し、移住定住の促進を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住相談会への出展、移住希望者へのPR等</li> <li>・お試し暮らし施設の管理運営</li> </ul>	1,902
合計		80,738

※各事業の金額や内訳については、総事業費（80,738千円）を上限として変更があり得ます。



## このプロジェクトが目指している目標

### 【目標1】 県外からの移住者数の増加

➤ 「自然といのちを大切にす地域づくり」を実現していくとともに、有害鳥獣対策を図り、地域産業の好循環を生み出して、移住しやすい環境を整備します。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (令和4年度末)	目標値 (令和7年度末)
県外からの移住者数	120人	45人増加

### 【目標2】 人材育成事業「里山塾」の参加者数の確保

➤ 「里山塾」において、動物の生態系と人間の営みの調和について学ぶ場を提供するとともに、実地研修にも取り組み、狩猟者の育成、確保を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (令和4年度末)	目標値 (令和7年度末)
人材育成事業「里山塾」の参加者数	-	150人

### 【目標3】 農作物鳥獣被害額低下

➤ 最新の技術を活用した効果的で効率的な有害鳥獣対策に取り組み、農作物への被害額の減少を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (令和4年度末)	目標値 (令和7年度末)
農作物鳥獣被害額	26,670千円	6,000千円減少

### 【目標4】 新規就農者数の増加

➤ 稲作支援を行うことのできるロボットを導入し、農業経験のない方でも農業に取り組みやすい環境を整備して、移住者による新規就農者の増加を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (令和4年度末)	目標値 (令和7年度末)
新規就農者数	-	15人増加

I - ⑤ 民間企業・大学等との連携協定  
(スマートシティ推進・DX推進に関する連携協定)



# スマートシティ推進及びDX推進に関する連携協定

51

## ～ 連携協定に基づく取組の主な実績一覧 ～

連携協定締結日	連携事業者	これまでの主な実績等
令和2年11月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>国立大学法人東京大学大学院 情報理工学化附属ソーシャルICT研究センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇東京大学が開発したアプリ「MITHRA」で収集した行動データの分析</li> <li>・（検討中）行動データ分析結果に基づくオンデマンドシステムの開発</li> </ul>
令和3年 2月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>旭化成 株式会社</li> <li>旭化成ネットワークス 株式会社</li> <li>株式会社 ケーブルメディアワイワイ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（継続中）ローカル5G等を活用した地域課題の解決、市民生活の向上に向けた協議</li> </ul>
令和3年 3月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>慶應義塾大学SFC研究所</li> <li>AJS 株式会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇同時双方向による「論理コミュニケーション」遠隔授業の実施</li> <li>・（検討中）平時の民間物流インフラを緊急時の公の災害物流インフラに活用する「民間物流インフラ災害対応DXモデル」の研究開発</li> </ul>
令和3年 4月 2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>西日本電信電話 株式会社</li> <li>INOBECH 協同組合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇INOBECH協同組合内でのローカル5Gに関する説明会の実施</li> <li>◇ローカル5Gセミナー講師の派遣</li> </ul>
令和3年 5月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般社団法人 九州テレコム振興センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇データ分析等に係るセミナー、研修会の実施</li> <li>◇専門的知見によるアドバイス支援の実施</li> </ul>
令和3年 5月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社 Another works</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇延岡市DX推進アドバイザー（デジタル分野の専門人材）の派遣</li> </ul>
令和3年11月 9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトバンク 株式会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇短時間集中豪雨を見据えた雨量測量システム実証実験の実施</li> <li>◇市内小学校でのPepperを活用したプログラミング教育支援の実施</li> <li>◇シニア向けスマホ教室（デジタルデバイト対策）の実施</li> </ul>
令和3年12月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校法人慶應義塾 慶應義塾大学大学院 SDM研究科附属SDM研究所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（検討中）「空飛ぶクルマ」の活用を見据えた、医療・防災分野における先進サービスの開発</li> <li>・（検討中）「ゼロカーボンシティのべおか」の実現に向けた連携体制の強化、取組に関する協議</li> </ul>
令和4年 4月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>SBIホールディングス 株式会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇延岡市職員を対象としたDXセミナーの実施</li> <li>◇市内中小企業者等を対象とした業種別のDXセミナーの実施</li> </ul>

# 『スマートシティ』で都会との教育格差を解消

## 慶応大学、東京学芸大学による同時双方遠隔授業



AIで苦手箇所を早いうちに解消

フィードバック

$$\frac{1}{4}x + \frac{2}{3} = \frac{1}{3}x - 1$$

$$\left(\frac{1}{4}x + \frac{2}{3}\right) \times 12 = \left(\frac{1}{3}x - 1\right) \times 12$$

$$3x + 8 = 4x - 12$$

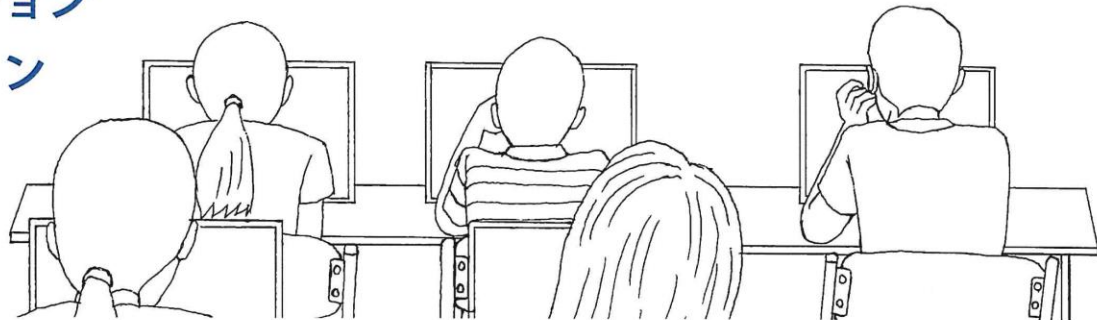
$$3x - 4x = -12 - 8$$

$$-x = -20$$

$$x = 20$$

1人1台IT機器整備+AI導入

- ①論理コミュニケーション
- ②英語ディスカッション
- ③データサイエンス



# 同時双方向遠隔授業による 論理コミュニケーション教育（市内中学校）

※協力：慶應義塾大学SFC研究所

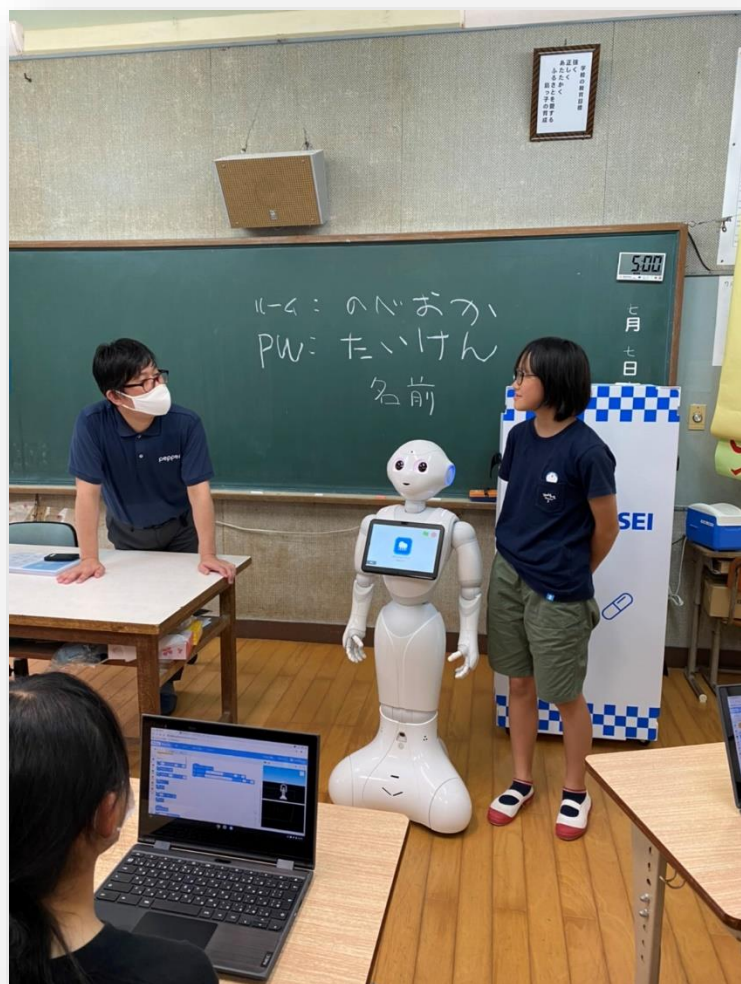


# 高校生向け 論理コミュニケーション教育

夏休み開催／**オンライン** 主催：（一社）延岡こども未来創造機構



# Pepperを活用したプログラミング教育（市内小学校）



※協力：ソフトバンク 株式会社



～日本のモノの流れの専門家が中心となり、「豊かな災害生活実現」を設計する～

## ・ 慶應義塾大学地域ICTプラットフォームラボ災害物資支援DXWGに集う産学官を代表

- － 玉生弘昌(株式会社プラネット代表取締役会長)
- － 飯沼正満(株式会社インテック常務執行役員・情報流通基盤サービス事業本部長)



2022年8月、宮崎県延岡市を活動拠点に災害物資支援DX研究開発を始動。



# 慶應義塾大学地域ICTプラットフォームラボ災害物資支援DXWG 57

～日本のモノの流れの専門家が中心となり、「豊かな災害生活実現」を設計する～

- 慶應義塾大学地域ICTプラットフォームラボは、デジタル田園都市構想に代表される、重要インフラの地域主導でのイノベーションを目的に地域ICTインフラ開発に実績を有するインテックを招聘して2020年に設立されました。
- 宮崎県延岡市においては、延岡市・延岡市教育委員会・慶應義塾大学SFC研究所による連携協定（2021年3月）、延岡市・慶應義塾大学SFC研究所・AJS株式会社の連携協力協定（2021年12月）に基づく地域創生に関する研究活動が推進されています。
- 民間災害物資支援DXWGは、日本のモノの流れは卸や物流VAN業者が担っているとの前提に立ち、災害が高頻度かつ常体化する中、**平時に民業の商品発注で使っている物流インフラを緊急時に公の災害物資提供インフラへ変換することを可能にするDXをまずは日用品関連において開発すること**を目的に産業界から日本の物流VANの中興の祖・株式会社プラネット玉生弘昌代表取締役会長を座長に、共同座長に國領二郎慶應義塾大学教授を迎え、2022年3月に発足。
- 2022年8月、宮崎県延岡市を活動拠点に災害物資支援DX研究開発を始動。**

## 1. WG目的

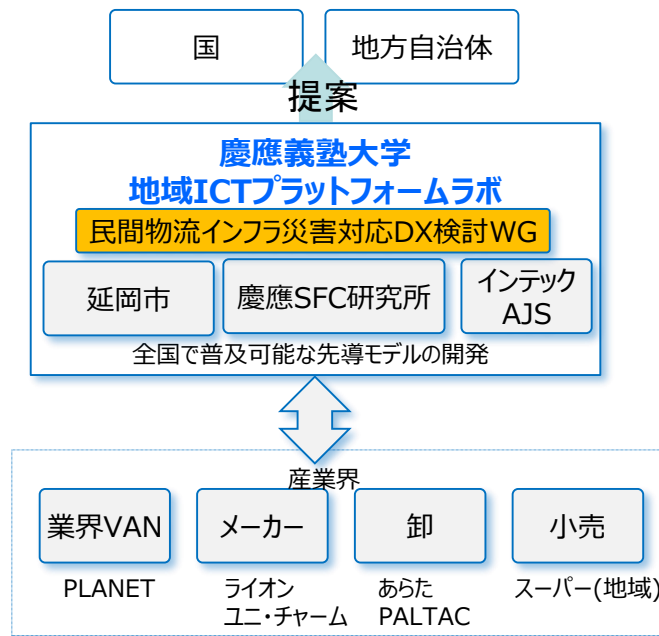
全国の市町村で普及可能な「豊かな災害生活を実現」する災害物資支援DXモデルを延岡市で研究開発すること

## 2. WG発足背景

近年の自然災害の頻度と被害規模の拡大に対応し、政府は2019年度から予備費を従来の3500億円から5000億円に拡大するなど、政府挙げての防災対策を推進しています。一方、災害時の物資支援をより効率よくニーズにあった物資提供を実現するためには課題が存在することが確認されています。そこで、日常EDIネットワークおよび物流を活用した実現方法を検討し、実装に向けた具体的計画を作成することが求められます。

## 3. 活動基本方針

- 共同座長に読谷山市長、委員に中間弘副市長をお迎えし、産学地方行政の連携で初期開発を進める
- 全国の市町村で普及可能な「豊かな災害生活を実現」する災害物資支援DXモデルを延岡市で研究開発する
- あるべき姿を描いた報告書を年内に中間、年度内に最終報告というスケジュールで研究開発を進める



## I - ⑥

## 東九州メディカルバレー構想



# 東九州メディカルバレー構想における 延岡市と宮崎県・宮崎大学との連携事例

・令和4年7月に宮崎大学、宮崎県、宮崎県北部メディカル産業推進協議会（延岡市・日向市・門川町）宮崎県医療機器産業研究会の主催で、医農工連携の推進を目的とした大規模イベントを開催。  
（令和5年度中に第2回を開催予定）

・専門家による講演に加え、県内企業をはじめとした多くの企業に協力いただき、16の体験イベントを実施。体験イベント以外にも企業の展示ブースや宮崎大学研究室による発表ブースなど設置し、企業・研究室合わせて25団体が参加した。

・参加者は約200名。アンケートでは企業、大学共に「非常に良かった」「良かった」が約9割と、満足度の高いイベントとなった。

## 体験イベント 13:00～15:00

- 03 株式会社L.A.B 「VRゴーグル・映像コンテンツ」
- 05 株式会社昭和 「体位変換機」
- 06 株式会社デンサン 「ふるえAI・心音AI」
- 08 ポストン・サイエンティフィック ジャパン 「人体模型によるカテーテル操作」
- 12 LOCOBOT株式会社 「LOCOBOT」
- 14 宮崎大学医学部附属病院臨床研究支援センター 「健康評価のための臨床研究の実施と体制整備」  
食品臨床試験部門・有村保次
- 15 宮崎大学工学部工学科 機械知能工学プログラム・李根浩 「ボール回収ロボット」
- 16 宮崎大学工学部・川末紀功仁 宮崎大学医学部・金子政晴 「豚の体重が見えるメガネ」 「新生児身体測定システム」



## スペシャルセミナー 10:00～12:00

### 開会挨拶 10:00～10:15

宮崎大学	理事・副学長	片岡 寛章
宮崎県商工観光労働部	部長	横山 浩文
延岡市	副市長	中間 弘



### 基調講演 10:15～10:30

宮崎大学医学部  
血液・血管先端医療学講座 教授 鶴田敏博  
「人々を繋ぎ宮崎から世界へ」



### 講演 I 10:30～11:00

宮崎大学医学部附属病院 病院長 帖佐悦男  
「ロコモザワールド宮崎 一産官学連携～」



### 講演 II 11:00～11:30

株式会社昭和 代表取締役社長 黒木保善  
「ものづくり企業×医工連携」  
～昭和の医療・福祉機器開発の取組について～



### 講演 III 11:30～12:00

国立がん研究センター東病院 医療機器開発支援室  
「承認審査と開発支援に携わった経験 室長 富岡輝  
から考える医療機器開発のポイント」





## I - ⑦

# 地域DXの推進への取組

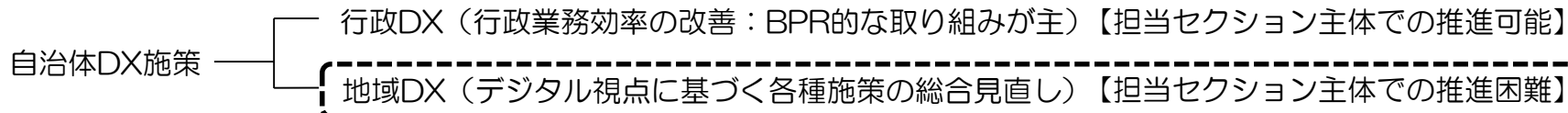
地域課題解決プロジェクトチームの活動



# デジタル化による地域課題解決プロジェクトチーム 活動概要等

## ～ 若手プロジェクトチームの発足 ～

### チーム発足意義等



地域DXの推進においては新たな視点（全体俯瞰的視点）で現状施策の在り方を改めて検討していく場の創設が何よりも大切

**DXとは：デジタル技術を活用した従来サービスモデルの抜本的改革を意味する**

その際、参加する各メンバーは、自身の所属意識に捉われず（各メンバーは所属組織の代表者として参加しているのではない）、延岡市職員として（客観的視野）、さらには延岡市民（主観的視野）としての観点に基づく議論・検討・提案を進めてもらうことがポイントとなる

### 「チーム延岡」の発想が重要



### 【地域課題解決プロジェクトチーム構成】

- 令和4年9月 発足
- 20代～30代の男性5名、女性2名の合計7名の職員で構成
- プロジェクトマネージャーとして本市が連携協定を締結している「一般社団法人九州テレコム振興センター」の広岡専務理事が参画
- 各メンバーは企画部、総務部、市民環境部、健康福祉部、商工観光文化部、都市建設部より部長推薦により選出

# デジタル化による地域課題解決プロジェクトチーム 活動概要等

## 活動スケジュール

STEP1

STEP2

STEP3

STEP4

メンバー全体としての  
課題意識の統一

既存事業の有効性等を  
全庁的視点から再検討

最も時間を費やすと  
想定されるスパン

抽出事業に対する  
デジタル技術導入の見極め

延岡市地域DX分野  
のアクションプランv1

延岡市が目指している今後中期的  
スパンにおける重要課題とは何か

現在の延岡市全体としての  
主要事業を重要課題の観点から  
俯瞰的にチェック

現実的視野だけに  
捉われない議論を推進

選定された対象事業のうち  
デジタル技術が有効活用  
できそうなものをピックアップ

アクションプラン  
の原案を提示

そもそも課題とは何か？  
必要に応じて研修も実施

■ 既存事業は果たしてどの程度有効に機能しているのか  
(慣習的事業、国の予算がつくから実施している事業、  
元来低いKPIしか設定できていない事業等々を改めて抽出)  
⇒いつまで事業継続が必要か、リメイク等はできないか

具体的にどういった  
デジタル技術の導入が  
効果的かを検討

庁内横断的施策  
提案となる  
可能性有

現在の総合計画 (To be) に  
対する現状 (As is) とは

■ 同種事業は併存していないのか  
(異なるセクション間での同類事業を抽出)  
⇒事業連携、事業融合させることで更なる効果が図れないか

幹部層の理解



## Ⅱ. 人材育成・確保



社会全体が急速にデジタル化し、近い将来の雇用情勢の大きな課題として、IT人材の不足が取り上げられている状況の中、企業等のDX推進のためのデジタル人材の育成・確保を図る取組が求められていることを踏まえ、延岡市では、市内企業等の従業員や市内企業等への就職を希望する者、さらには次代を担う高校生・大学生を対象として、デジタル人材育成事業「延岡ITカレッジ」を開講した。



(合同開講式 特別講演)

### ☆☆☆ 合同開講式 ☆☆☆

- 日時 令和4年12月3日(土) 13時00分~15時00分  
 会場 延岡市役所 本庁舎2階 講堂  
 内容 ① 市長あいさつ ② 特別講演 / 講師 久世和資氏 (旭化成 株式会社 デジタル共創本部長)  
 ③ 各カテゴリーでオリエンテーション

### <企業の従業員向け>

#### □ 全 7 回コース

- ・ MSソフト基礎から応用までの習得
- ・ 受講者のニーズに応じた技術の獲得
- ・ DX事例を踏まえた自社におけるDX導入のための方法の学習
- ・ ワークショップやグループワークを通じて自社でのDX活用の方法を考察・実践

【マイプラス(株)】

### <求職者向け>

#### □ 全 41 回コース

- ・ 共通科目と選択科目を用意
- ・ 共通科目：オリジナル教材でプログラミングを学習
- ・ 選択科目：3つのコースから選択
- ・ 成果物の発表
- ・ 市内企業とのマッチング支援

【マイプラス(株)】

### <高校生・大学生向け>

#### □ 全 10 回コース

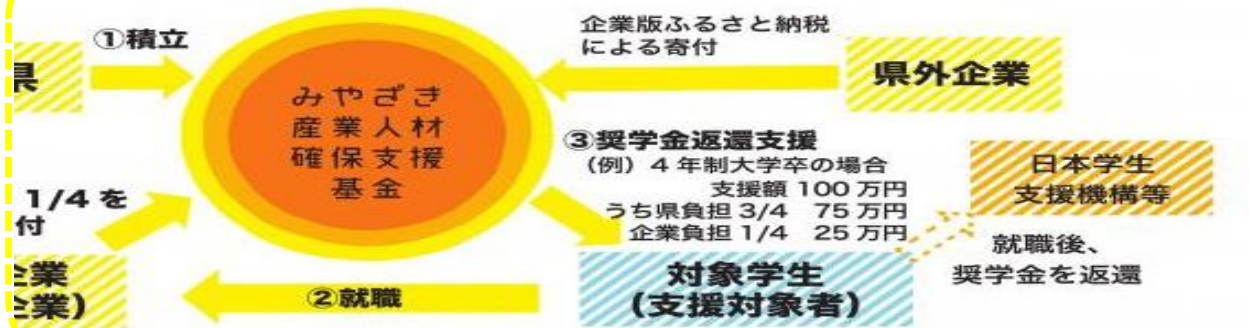
- ・ ロボットをつかったプログラミング学習
- ・ 体験学習(東京)を実施
- ・ 高度デジタルスキルの習得
- ・ デジタルアプリケーションの企画
- ・ 成果物の発表

【(株)クラウドイオサステナビリティ】



# II-② 奨学金返還支援による地元企業人材確保支援事業

## 【ひなた創生のための奨学金返還支援事業】



## 【延岡市育英会】

※ 現在、県や市を含め、返還支援制度なし

対象学生 (支援対象者)

補助金

広域行政事務組合

### 奨学金返還支援企業助成事業

- ◎ ひなた創生のための奨学金返還支援事業と連携し、支援対象者を雇用した場合に企業が負担する基金への寄付金（上図④）の全額を補助する。  
⇒ 企業の負担ゼロ！  
市内企業の支援企業への認定を後押し！  
保育園や介護施設も含め、関係課室で連携を取り、市内企業の認定を推進！

補助金

延岡市

### 延岡市奨学金返還支援事業

- ◎ ひなた創生のための奨学金返還支援（上図③）の2分の1を上乗せ補助  
⇒ 県の支援と併せて最大4分の3を補助！
- ◎ 延岡市育英会への返還支援を創設  
⇒ 最大2分の1を補助！  
ひなた創生の認定企業以外の市内企業への就職も対象！

補助金

II - ③ 外 町 キッズ

# Out of KidZania in のべおか 2022

○日 時 2023年2月4日(土) 5日(日)

○会 場 野口遵記念館、ほか現地

○対 象 延岡市内在住の小中学生

○料 金 500円(税込)/1プログラム

○出展数 27プログラム



# Ⅲ. 企業誘致



## Ⅲ－① IT関連企業の開所状況

令和4年3月オープン 延岡駅西口街区ビル（③⑥⑧⑨が入居）

### 【新たに開所したIT関連企業】

- ① 株式会社オムニバス
- ② 健幸わかば株式会社
- ③ 株式会社プラージュ
- ④ マイプラス株式会社
- ⑤ 株式会社オレンジゲート

### 【市内移転や既に市内に本店があり、支店を別で開所したIT関連企業】

- ⑥ 株式会社エッジコネクション
- ⑦ 株式会社エン エンブロード
- ⑧ 株式会社ケーブルメディアワイワイ ワイワイプレイラボ

### 【市内のIT関連企業が、顧客獲得のために開所した営業施設】

- ⑨ 旭化成ネットワークス株式会社 ココカフェ延岡
- ⑩ AJS株式会社 ショールーム



# Ⅲ - ②

## ワーケーション施設の利用補助

令和3年度

ワーケーション施設における

ネット環境を整備



### 場所を選ばない新しい働き方 延岡で実践してみませんか？

ワーケーション導入のメリットは、こんなにたくさん！

企業	有給休暇の取得促進/帰属意識の向上/人材確保、流出抑制 イノベーションの創出/CSR,SDGsの取り組みによる企業価値向上 地域との関係性構築によるBCP対策/地方創生への寄付
従業員	長期休暇の取得促進/働き方選択肢増加 ストレス軽減/リフレッシュ効果/モチベーションの向上 業務効率の向上/リモートワークの促進/新たなアイデアの創出
地域	平日の旅行需要創出/交流人口及び関係人口の増加 関連事業の活性化および雇用創出 企業との関係性構築/遊休施設の有効活用



# ワーケーションを実施される事業者の 滞在費用の一部を補助します！

## ■補助1 / 往復の交通運賃の補助

出発地からワーケーション施設までの往復の交通運賃の1/2を補助（上限20,000円）

## ■補助2 / レンタカー使用料の補助

市内に滞在している期間に利用するレンタカー利用料の実費の1/2を補助（上限3,000円/日）

## ■補助3 / ワーケーション施設の利用料の補助

1棟につき利用料の9/10を補助（100円未満切り捨て）

※新型コロナウイルス感染症の影響からの経済・観光の振興も含め、制度開始時の周知と利用の促進を図るために補助率を9/10からスタートしています。

## ■補助金対象事業者

- ・市内に事業所を持たない個人事業主または会社
- ※市外に支店を持つ市内事業所の本店などの場合、その支店は対象となる。

## ■補助対象となる者

- ・市内に居住していない対象事業者の従業員など（個人事業主を含む）
- ※市外企業の従業員でも本市に居住しているものは対象外。

## ■補助対象となる施設

- ・下阿蘇ビーチリゾート浜木綿村のケビン A棟・B棟・C棟
- ・ET0ランド速日の峰の貸別荘（平屋のみ）

## ■インターネット用にモバイルルーターを貸出します。



### 【ET0ランド速日の峰バンガロー】

棟区分	定員※	期間	一棟の利用料金/日	9/10補助適用後の料金
ー	6人	通年	15,700円	1,600円

※定員は施設の規模やベッド・寝具の数で定めている



### 【浜木綿村ケビン】

棟区分	定員※	期間	一棟の利用料金/日	9/10補助適用後の料金
A棟・B棟	4人	4月～10月	15,400円	1,600円
		11月～3月	12,100円	1,300円
C棟	7人	4月～10月	28,600円	2,900円
		11月～3月	25,300円	2,600円

## お申込み先・方法

延岡市 商工観光部 工業振興課に連絡後、郵送した申請書を記入のうえ提出

※本制度の利用後に、アンケートのご協力をお願いする場合がございます。

延岡市 商工観光部 工業振興課 電話 0982-22-7035 E-mail:kougyo@city.nobeoka.miyazaki.jp

## Ⅲ - ③ 延岡市コワーキングスペース



令和4年3月  
コワーキングスペースを  
延岡駅前に開業！



### 人とまちをつなぐ「場所」

ご利用の皆さまを気持ちよくお出迎えし、  
相談を伺い、そして解決してくれる人を探し、おつなぎすることを役目とし、  
利用者同士のコラボレーションを生み出します。  
個性豊かなスタッフがお出迎えますので、ぜひお気軽にお声がけください！

ドロップイン(一時利用) 利用に必要な手続きは、簡単な会員登録のみ。電源、高速Wi-Fiはもちろん、  
**料金プラン** Web会議可能なフォンブースなど働くのに必要なツールを完備しています。

#### 3時間利用

開館時間：月～金 10:00-20:00  
※土日祝・年末年始を除く

【市内】¥330

【市外】¥550

#### 1日利用

開館時間：月～金 10:00-20:00  
※土日祝・年末年始を除く

【市内】¥660

【市外】¥1,100

※料金は税込です

コワーキングスペースのできること

- 快適な空間での仕事、勉強
- 会議室を使つての打ち合わせや商談
- 他の利用者さまとの交流

ほんの  
一歩です！

お気軽にお問い合わせください！



# 一人ひとりの「あんなことができたらいいな！」 に合わせて自由に場所を選べます



## ミーティングルーム ※事前予約制 完全個室で最大8名まで収容可能 (4部屋完備)

ご使用例

商談

社内会議

セミナー・研修

など

収容人数：4名～8名

貸出機材：ホワイトボード/モニター

ご利用料金

8名部屋：¥440/時間 4名部屋：¥165/時間

※料金は税込です

## Web会議専用ブース

遮音性に優れた一人用個室

Web面談、リモート会議などにオススメ

ご使用例

リモート会議

Web面接

テレカン

など

ご利用料金

3時間or1日利用の方なら、追加料金なしで利用可能

※おひとり様1回120分程度のご利用を目安にしてください  
※差種時は他の方と譲り合ってください



## 高集中エリア

三方向を壁で仕切られたブース型デスク

視線が気にならないから作業に没頭したい時にオススメ

ご使用例

勉強

ライティング作業

読書

など

ご利用料金

3時間or1日利用の方なら、追加料金なしで利用可能

※おひとり様1回120分程度のご利用を目安にしてください  
※差種時は他の方と譲り合ってください

## 延岡市コワーキングスペース

Powered by ATOMica

開館時間 10:00-20:00 (土日祝、年末年始を除く)

延岡市幸町3丁目101番地 延岡駅西口街区ビル2F TEL 080-7315-4881



# IV. 脱炭素先行地域



---

令和4年11月選定

## 高度経済成長期を支えた住宅地の カーボンニュートラルによる再生・災害に強いモデルを全国へ

(脱炭素先行地域：宮崎県延岡市一ヶ岡地区《5,223 人在住、高齢化率 40%》)

### 民生部門の電力削減の取組み

要件①-1(民生部門(家庭部門及び業務その他部門)の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現する取組)

#### 1 脱炭素先進エリア整備

市営住宅再編(A,B,C団地)による余剰地にテレワーク・シェアオフィス併設、ZEB条件事業所向け分譲地、公用車カーシェアやZEB子育て支援施設整備、EV充電スタンドなどを整備

#### 2 脱炭素型での市営住宅再整備(PFI方式)

#### 3 既存市営住宅等への太陽光発電設備・蓄電池導入

#### 4 一ヶ岡下水処理場のカーボンニュートラル化

#### 5 街灯・防犯灯、公共施設のLED100%化とRE100化

#### 6 地域新電力会社設立(辛FITやRE100活用も検討)

#### 再エネ+蓄電池+EMS整備により

災害時、大手電力会社の送電網が停電しても、再エネ網で早期に送電開始可能

⇒脱炭素と同時に災害対応力強化

#### 7 再エネ・蓄電池費用やZEH・ZEB費用など国補助の協調補助

#### 8 市民の「脱炭素行動」に確実につなげる地域通貨(のべおかCOIN)

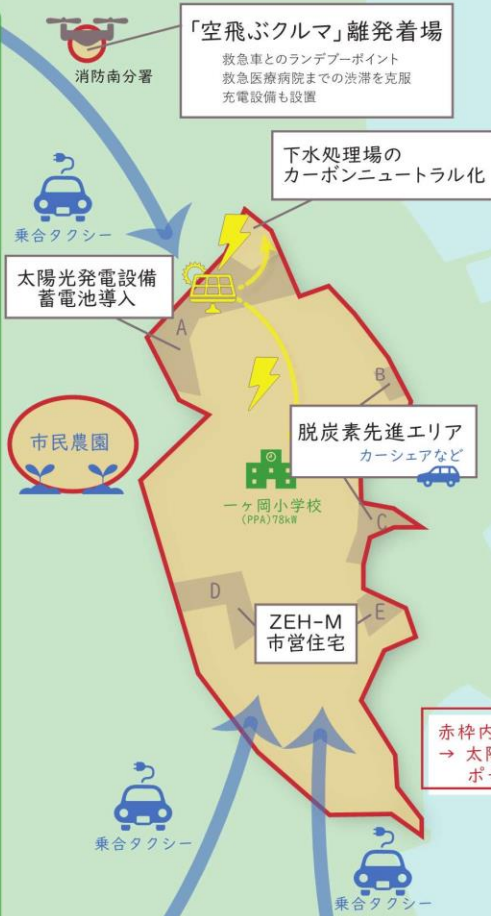
地域通貨”のべおかCOIN”(R3.8月にスタートした地域通貨)にCNポイント(カーボンニュートラルポイント)を追加

#### 9 エアコン買い替えや断熱改修など脱炭素につながる消費への補助

#### 10 GHG排出量の見える化

#### 市民一丸となった取組み

⇒脱炭素の早期達成、市内類似団地、さらには全国への展開へ



「空飛ぶクルマ」離発着場  
救急車とのランデブーポイント  
救急医療病院までの渋滞を克服  
充電設備も設置

下水処理場の  
カーボンニュートラル化

太陽光発電設備  
蓄電池導入

脱炭素先進エリア  
カーシェアなど

ZEH-M  
市営住宅

赤枠内面積89ha  
→ 太陽光発電  
ポテンシャル最大4.5MW

### 民生部門の電力削減以外の取組み

要件①-2(地域特性に応じた温暖化対策の取組)

- ① 乗合タクシー(現在3路線)のEV車化
- ② 市民向けカーシェア +EV充電スタンド+シェアサイクル
- ③ EV車・FCV車費用の国補助の協調補助
- ④ 免許返納時に多くポイント付与で脱マイカー推進
- ⑤ エリア内循環EVモビリティ
- ⑥ 家庭用コンポスト補助拡大及び市民農園利用促進
- ⑦ 都市ガスのカーボンオフセット
- ⑧ 「空飛ぶクルマ」による救急救命率向上
- ⑨ 地元林産材での省エネ改修に対し補助



※エリア内の塗りつぶし範囲は市営団地敷地(A~E)  
※「空飛ぶクルマ」とは、国内外で研究開発や法整備が進められている、主に「電動」「自動」「垂直離着陸」を特徴とした次世代モビリティシステム

プロジェクトを実現する基盤  
=テクノロジーを受け入れる力があり、助け合い活動が盛んな一ヶ岡の「市民力」

# V. 延岡市ふるさと納税



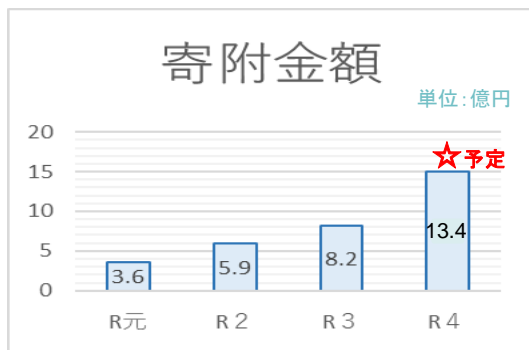


V-①

# 延岡市ふるさと納税のご紹介

海・山・川がそろった延岡市では、自然の恵みを受けた沢山の【美味しい！】がそろっています。人気急上昇中のお礼の品をご紹介します。

【ふるさと納税寄附額大幅UP中！】



【R4年度企業版ふるさと納税】も約7,700万円を達成！  
企業版ふるさと納税の制度延長を！



商品コード FF006  
豪華お刺身 6ヶ月定期便 寄附金額 ¥85,000

【人気NO1！】黒潮の恵みを受け、日向灘で育った真鯛、ブリ、カンパチ等の獲れたての新鮮なお魚を活〆し、真空パックで毎月お届け。鮮度抜群です！

【愛情をそそいで育てました！】



商品コード A325  
延岡よっどん上ロースブロック (約1kg)  
寄附金額 ¥12,000

新鮮な空気と水、EM菌を配合した飼料など健康にこだわって育てた豚です。脂部分もくどくないため、上品なロースの味を楽しめます。



商品コード A217  
冷凍辛麺 A セット (麺、スープ、唐辛子、卵黄液 ¥5人前)  
寄附金額 ¥13,000

【延岡発祥！辛麺】

延岡のソウルフード辛麺も今や全国区。韓国産の唐辛子と、にんにくの効いたパンチのあるスープと、もちもちのこんにやく麺が相性ばっちり！



商品コード D053  
お魚の漬け丼 5回定期便 (約100g×4袋を5回)

寄附金額 ¥40,000

【5分で解凍プロの味！】

獲れたての魚を活〆し、魚の旨味が引き立つ「黒ダレ」、上品な旨味を活かす「白ダレ」、魚種に合わせた味付けをしています。

【公式Instagram】



「nobeokaiitoko」

公式インスタぜひ登録を！

【問い合わせ】

宮崎県延岡市 新財源確保推進室

☎0982-20-7175

✉zaigen@city.nobeoka.miyazaki.jp

# VI. ネーミングライツ

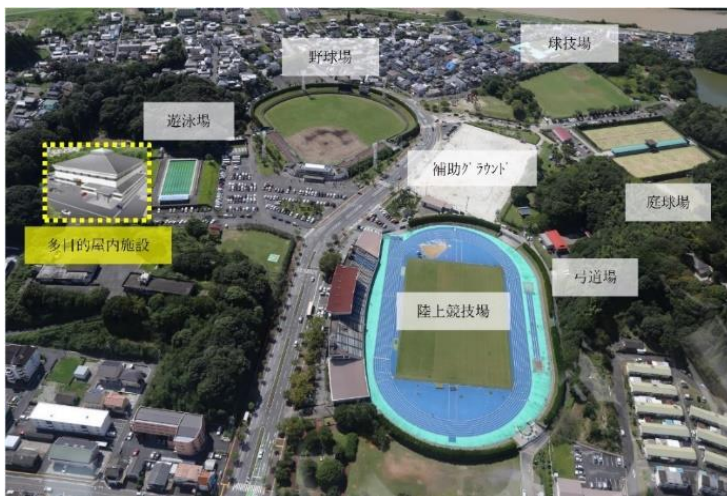


## 多目的屋内施設(仮称)のネーミングライツ

宮崎県地域防災計画において災害時の後方支援拠点に位置付けられている西階公園の防災の機能強化やスポーツ施設の充実等を図るため、現在、同公園内に「多目的屋内施設(仮称)」を建設中(令和6年4月供用開始予定)です。

この「多目的屋内施設(仮称)」のネーミングライツパートナーを募集し、地元ケーブルテレビ事業者「株式会社ケーブルメディアワイワイ」に決定。

### 【建設地】



### 【施設外観】



### ネーミングライツ概要

対象施設：多目的屋内施設(仮称)

所在地：延岡市西階町1丁目4355番地

施設愛称：のべおか waiwai アリーナ

契約期間：令和5年5月23日～令和8年3月31日

契約価格：200万円/年



ネーミングライツパートナー契約締結式

## VII. その他



## VI-①

公開承認施設を目指す  
延岡城・内藤記念博物館

令和4年9月23日オープン

## 【概要】

- ・延岡城西之丸跡地に建つ歴史民俗博物館
- ・先史時代から現代に至るまでの延岡の歴史・文化に関する資料を展示している
- ・国内外の美術作品を中心とした企画展等も開催する



## 【開館時間】

- ・9時～17時（入館16時30分）

## 【入館料】

- ・平常展は無料 企画展は別途料金

## 【休館日】

- ・月曜日（祝日の場合は翌日）
- ・年末年始 12月28日～1月3日

## 【交通案内】

- ・延岡 I C から車 5 分
- ・まちなか循環バス「図書館前」下車徒歩 3 分

## 【施設】

- ・本館・和室棟・蔵・日本庭園・屋外 E V



## Ⅵ-② 野口<sup>したがう</sup>遵記念館

令和4年12月18日オープン

- 【経緯】
- ・昭和30年8月 旭化成工業(株) (現在の旭化成(株)) から、創業30周年、延岡市制施行20周年を記念して「延岡市公会堂 野口記念館」を延岡市へ寄贈
  - ・平成29年3月 旭化成(株)から、野口記念館の建て替え資金として、30億円の寄贈を受領
  - ・令和元年6月 野口記念館閉館 → 基本設計・実施設計 → 建設工事着手
  - ・令和4年12月18日 野口遵記念館としてリニューアルオープン
- ※令和4年:旭化成(株)創業100周年、令和5年:延岡市制施行90周年

【施設】 地上3階建て

- ①建物用途 劇場
- ②敷地面積 14,310㎡
- ③延床面積 4,363㎡
- ④駐車場 約250台
- ・野口遵顕彰ギャラリー
- ・多目的ホール (675席)
- ・多目的フリースペース
- ・練習室 ・屋外ロビー ・外部テラス

【開館時間】

- ・9時～22時

【休館日】

- ・水曜日
- ・年末年始 12月28日～1月3日

【利用料】

- ・利用施設、利用時間で料金設定

【交通案内】

- ・延岡 I Cから車で10分
- ・まちなか循環バス「九電前・市役所西」下車徒歩 1分

